Arcserve[®] Cloud Backup for Office 365



バージョン 1.2

arcserve

リーガルノーティス

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserveこのドキュメントは、Arcserveの専有情報であり、Arcserveの事前の書面による承諾なしに、全部または一部をコピー、譲渡、複製、開示、変更、複写することを禁止します。

本ドキュメントで言及されているソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、Arcserveのすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは Arcserve に本書の全部または一部を複製したコピーを Arcserve に返却したか、または破棄したことを文書で証明する 責任を負います。

準拠法により認められる限り、Arcserve は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対 する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本 システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかな る損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、Arcserve はお客様または第三者に対し責任 を負いません。Arcserve がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様と します。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者はArcserve です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212, 52.227-14 及び 52.227-19(c)(1) 及び (2)、及び、DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの 後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

© 2020 Arcserve (その関連会社および子会社を含む)。All rights reserved.サードパーティの商標または著作 権は各所有者の財産です。

Arcserve サポートへの問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題の解決に役立つ豊富なリソースを提供します。重要な製品情報に簡単にアクセスできます。

テクニカルサポートへの問い合わせ

Arcserve サポートの内容

- 弊社のArcserve サポート チームが社内で共有しているのと同じ情報ライブ ラリへ直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジベース(KB)ド キュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについ て、製品関連KB技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを 見つけることができます。
- 弊社のライブチャットリンクを使用して、Arcserve サポートチームとすぐにリア ルタイムで会話を始めることができます。 ライブチャットでは、製品にアクセス したまま、懸念事項や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバルユーザコミュニティに参加して、質疑応答、ヒントの共有、ベスト プラクティスに関する議論、他のユーザとの会話を行うことができます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、 質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。
- また、ご使用のArcserve製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

コンテンツ

概要
機能
Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ に含まれるもの
Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ にアクセスするための前提条件
第2章 : バックアップに Arcserve Cloud インスタンスを使用す
Microsoft Office 365 データを Arcserve Cloud に保護するプランの作成
Exchange Online バックアップ プランを作成する方法
SharePoint Online バックアップ プランを作成する方法
Microsoft Office 365 OneDrive バックアップ プランを作成 する方法
保護データのリストア
Exchange Online のメールボックス データをリストアする方法
SharePoint Online サイト コレクション データをリストアする方 法
OneDrive データのリストア方 法
保護された Microsoft Office 365 データを Arcserve Cloud Backup インスタン 復旧する
Microsoft SharePoint Online サイト コレクション データをリストアする方 法
Microsoft Office 365 Exchange メールボックス データをリストアする方 法
Microsoft OneDrive データのリストア方法

第1章: Arcserve についての理解Office 365 のクラウド バックアップ

このドキュメントでは、Cloud Backup インスタンスのセットアップ、アクセス、および使用について説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

概要	6
機能	7
Arcserve Office 365 のクラウド バックアップに含まれるもの	8
Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ にアクセスするための前提条件	9

概要

Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ は、組織 がシームレス統合 クラウド バッ クアップおよび DR (Disaster Recovery、惨事復旧)を使用してデータ保護ニーズを 満たすことができるようにするクラウド コンピューティング サービスです。Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ は、Office 365 データのオフサイトの可用性と Point-in-Time バックアップ コピーを確保する事業継続ソリューションです。

Office 365 のクラウド バックアップ は、クラウド間 のバックアップ ソリューションとして提供され、データ保護の完全なセキュリティと効率のために、 グローバル デデュプリケーション、暗号化、圧縮、および WAN 最適化レプリケーションを活用します。

機能

Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ では、以下の操作を実行できます。

Arcserve への Office 365 OneDrive のバックアップOffice 365 のクラウド バック アップ: OneDrive は、Microsoft Cloud にホストされているファイル ストアです。 OneDrive プランは、保護する OneDrive ノード、バックアップ先、バックアップ スケジュールなどを指定できるバックアップ タスクで構成されます。バックアップ 先はバックアップ データを保存する非デデュプリケーションまたはデデュプリケー ション データストアです。

詳細については、「<u>Microsoft Office 365 OneDrive ノード バックアップ プランを</u> 作成する方法」を参照してください。

Cloud Backup インスタンスへの Office 365 Exchange Online のバックアップ: Exchange Online は、Microsoft Cloud でホストされている電子メールアプリケーションです。プランを作成し、Microsoft Cloud を使用して、メール、予定表アイテム、連絡先などの Exchange Online メールアイテムを保護します。 Exchange Online プランは、保護する Exchange Online ノード、バックアップ先、バックアップスケジュールなどを指定できるバックアップタスクで構成されます。バックアップ先はバックアップデータを保存する非デデュプリケーションまたはデデュプリケーションデータストアです。

詳細については、「<u>Exchange Online プランを作成する方法</u>」を参照してくだ さい。

Cloud Backup インスタンスへの Office 365 SharePoint Online のバックアップ: SharePoint Online は、Microsoft Cloud にホストされているポータル管理アプリケーションです。SharePoint Online プランを作成し、Microsoft Cloud を使用して、ドキュメント ライブラリやリスト ライブラリなどの SharePoint Online リストアイテムを保護します。SharePoint Online プランは、保護する SharePoint Online ノード、バックアップ先、バックアップスケジュールなどを指定できるバックアップ タスクで構成されます。バックアップ先はバックアップ データを保存できる非デデュプリケーション データストアまたはデデュプリケーション データストアです。

詳細については、「<u>SharePoint Online プランを作成する方法</u>」を参照してく ださい。

Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ に含まれるもの

Arcserve Office 365 のクラウド バックアップには以下が含まれます。

- Arcserve UDP コンソールまたは RPS サーバ。
- Arcserve UDP コンソールにアクセスするための URL。
- Cloud Backup インスタンスで使用可能な Arcserve UDP コンソール アカウントのユーザ名 とパスワード。

重要: デフォルトでは、Cloud Backup Office 365 のデデュプリケーション データ ストアには、リモートで生成された暗号化パスワードが含まれています。 Arcserve はデフォルト パスワードをリストアできないため、初めて Cloud Backup にログインするときに暗号化パスワードを変更する必要があります。 後でデータストアのインポートやデデュプリケーション データストアでの一貫性 チェックの実行などのタスクを実行するのにパスワードが必要なため、新しく 作成したパスワードを安全に保つことをお勧めします。データストアがクラウ ドインスタンスから削除されていない場合、データストア設定から新しく作 成したパスワードを後で変更できます。

Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ にアクセスするための前提条件

Cloud Backup インスタンスにアクセスする前に、以下の前提条件を確認してください。

- Arcserve サポートからの電子メール。これには以下の詳細が含まれています。
 - ◆ Arcserve UDP コンソールへの URL
 - ◆ ホスト名(ノード名)
 - ◆ Cloud Backup のユーザ名とパスワード

第2章: バックアップに Arcserve Cloud インスタンスを使 用する

Arcserve Office 365 のクラウド バックアップ では、以下の機能を実行できます。

- Cloud Backup インスタンスに Microsoft Office 365 Exchange Online、 SharePoint Online、または OneDrive データを保護 するプランを作成します。
- Cloud Backup インスタンスから Office 365 サーバに、Office 365 Exchange Online、SharePoint Online データをリストアします。
- Microsoft Office 365 OneDrive データを Cloud Backup インスタンスからローカ ルディスクにエクスポートします。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Microsoft Office 365 データを Arcserve Cloud に保護するプランの作成	12
<u>保護データのリストア</u>	81
保護された Microsoft Office 365 データを Arcserve Cloud Backup インスタンスから	,
<u>復旧する</u>	. 109

Microsoft Office 365 データを Arcserve Cloud に保護 するプランの作成

Exchange Online

Microsoft Office 365 Exchange 保護は、Microsoft Exchange Online メールフォルダ およびアイテムをバックアップおよびリストアするのに使用されます。Exchange オンラ イン コンテンツを保護するには、プランの作成が必要です。

Arcserve UDP 7.0 Update 2 Build 634 バージョンを使用したプランの作成の詳細に ついては、「Exchange Online プランを作成する方法」を参照してください。

Arcserve UDP 7.0 Update 2 Build 700 バージョンを使用したプランの作成の詳細については、「<u>Exchange Online プランを作成する方法</u>」を参照してください。

SharePoint Online

Microsoft Office 365 SharePoint 保護を使用して、Microsoft SharePoint Online サ イトとリスト アイテムをバックアップおよびリストアします。SharePoint Online は、 Microsoft Office 365 の主要製品の1つです。SharePoint コンテンツを保護するに は、プランの作成が必要です。

Arcserve UDP 7.0 Update 2 Build 634 バージョンを使用したプランの作成の詳細については、「<u>SharePoint Online バックアッププランを作成する方法</u>」を参照してください。

Arcserve UDP 7.0 Update 2 Build 700 バージョンを使用したプランの作成の詳細については、「<u>SharePoint Online バックアッププランを作成する方法</u>」を参照してください。

OneDrive

Microsoft Office 365 OneDrive 保護は、Microsoft OneDrive ファイルおよびフォルダ アイテムをバックアップおよびリストアするのに使用されます。OneDrive は、Microsoft Office 365 の主要製品の1つです。OneDrive コンテンツを保護するには、プランの 作成が必要です。

Arcserve UDP 7.0 Update 2 Build 634 バージョンを使用したプランの作成の詳細については、「<u>Microsoft Office 365 OneDrive ノード バックアップ プランを作成する方</u>法」を参照してください。

Arcserve UDP 7.0 Update 2 Build 700 バージョンを使用したプランの作成の詳細については、「<u>Microsoft Office 365 OneDrive ノード バックアップ プランを作成する方</u>法」を参照してください。

注: ビルド番号を表示するには、Arcserve UDP コンソールにログインし、 [ヘルプ] > [バージョン情報]をクリックします。

Exchange Online バックアップ プランを作成する方法

Exchange Online は、Microsoft のクラウド でホスト される電子 メール アプリケーション です。Microsoft クラウド からの Exchange Online メール アイテム(メール、予定表項 目、連絡先など)を保護するには、プランを作成する必要があります。Exchange Online のプランはバックアップ タスクから構成されます。このバックアップ タスクでは、 保護する Exchange Online ノード、バックアップ先および バックアップ スケジュールを 指定 できます。

この後の手順

- 1. 前提条件と考慮事項の確認
- 2. Exchange Online バックアップ プランの作成
- 3. (オプション) 手動 バックアップの実行
- 4. <u>多要素認証の設定</u>

前提条件と考慮事項の確認

前提条件:

バックアップ アカウントの場合:

- グローバル管理者権限を持つバックアップサービスアカウントを使用します。
- Exchange Online 組織に接続する Exchange Online バックアップ アカウントに バックアップユーザ用偽装権限を追加し、バックアップおよびリストアを実行 します。

注: Discovery Management 役割グループにバックアップ アカウントを追加せず、Application Impersonation アクセス許可を割り当てていない場合、バックアップは失敗します。

- バックアップユーザアカウントを1つのExchange Onlineメールボックスと関連 付けます。
- Office 365 テナントで先進認証が設定されている場合、Arcserve UDPの バージョンは 7.0.4455 Update 2 Build 675 以降である必要があります。バー ジョンを目的のビルドにアップグレードする必要がある場合は、Arcserve サ ポートにお問い合わせください。

考慮事項:

 O365 テナントで先進認証が設定されていて、それをサポートするために Arcserve UDP が最近アップグレードされた場合、先進認証関連の設定を 使用して既存のExchange Online ジョブを再設定する必要があります。これについては、「先進認証」で説明されています。

バックアップユーザの偽装権限の追加

バックアップ アカウントを Discovery Management 役割 グループに追加し、 Application Impersonation アクセス許可を割り当てます。

以下の手順に従います。

- 以下のいずれかの方法を使用して、必要な役割とグループを追加します。
 Office 365 ポータルの使用
- a. 管理者またはグローバル管理者権限のあるアカウントで<u>Office 365 ポータル</u> にログオンします。

Exchange 管理センターページが開きます。

b. **アクセス許可**]に移動し、追加]ドロップダウンから Discovery Management]をダブルクリックします。

[Discovery Management] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: Discovery Management 役割グループのメンバは、特定の基準を満た すデータを Exchange 組織のメールボックスで検索できます。

c. 役割]で[+]をクリックして、ApplicationImpersonation 役割を追加します。

[Discovery Management] ダイアログ ボックスが表示されます。

d. **表示名**]ドロップダウンから [ApplicationImpersonation]を選択します。

注: ApplicationImpersonation 役割では、アプリケーションが組織のユーザになりすまし、ユーザの代わりにタスクを実行することができます。

e. **ジンバー**]で [+]をクリックして、バックアップ アカウントをメンバとして追加します。

ダイアログ ボックスが表示されます。

f. **名前**]ドロップダウンからバックアップアカウントを選択し、 **DK**]をクリックしま す。

Discovery Management]ダイアログボックスの **シンバー**]に、選択したバックアップアカウントが表示されます。

g. **保存**]をクリックします。

ApplicationImpersonation 役割とメンバグループが Exchange Online のバックアップ アカウントに追加されます。

先進認証

このセクションでは、Office 365 バックアップの先進認証について説明します。

前提条件

先進認証をサポートするように UDP をアップグレードした後は、必ず以下を実行してください。

- このパッチの実行に使用するアカウントに以下のロールを割り当てます。
 - グローバル管理者
 - コンプライアンス管理者
 - 会社管理者
 - 1. ロールを割り当てるには、Azure ポータルにログインします。
 - 2. [Azure Active Directory]- [ロールと管理者]- [ご利用のロール]に移 動します。
 - 3. **割り当ての追加**]をクリックして、ロールおよびロールの割り当て(グローバル管理者、コンプライアンス管理者(ロール)、会社管理者 (ロールの割り当て)など)を追加します。
- Exchange Online Discovery Management にユーザを追加し、
 ApplicationImpersonation ロールを割り当てます。
 - 1. <u>https://outlook.office365.com/ecp</u>に移動し、**アクセス許可**]- **管理 者ロール**]- **Discovery Management**]に移動します。
 - 2. ApplicationImpersonation ロールを追加します。
 - 3. Discovery Management ロール グループにユーザを追加します。

トラブルシューティング

Azure でアプリケーションを作成するときに、バックアップ設定に失敗しましたというエラーメッセージが表示された場合は、以下の手順に従います。

- コンプライアンス管理者ロールを確認して割り当てます。詳細については、
 「前提条件」を参照してください。
- 会社管理者ロールを確認して割り当てます。詳細については、「<u>前提条</u> <u>件</u>」を参照してください。

セキュリティ証明書の使用方法

自己署名証明書は、以下のいずれかの方法で使用できます。 方法 1:新しい自己署名証明書を生成してダウンロードする

新しい自己署名証明書を使用して認証するには、以下の手順に従います。

手順1で、UDPが新しい自己署名証明書を生成できるようにするには、
 新しい自己署名証明書の生成とダウンロード]を選択します。ローカルコンピュータに証明書を保存するには、証明書のダウンロード]ボタンをクリックします。

- 	
セキュリティ証明書の使用	
ステップ Ⅰ ፡	አ ምንプ ድ
 ●新しい自己署名証明書の生成とダウンロード ▲言語目書のダウンロード 	注: [既存の証明書の使用] UIオブションを使用して、CA (Certifying Authority) により発行されたサードパーティセキュリティ証明書により、 に前提条件を展開している場合は、この手順を省略してください。
○ 既存の証明書 (プライベート証明書 pfx ファイル)を使用	すべての Office 365 バックアップ用に Azure で前提条件を設定する(a ここをクリックします

2. 手順2で、Azureポータルでアプリケーションをアップロードして設定するには、<u>にこをクリック</u>]リンクの手順に従います。

方法 2: 既存の証明書を使用する

既存の証明書を使用して認証するには、 <u>にこをクリック</u>]リンクの手順に従います。

注:

- このオプションを選択すると、ユーザは独自の自己署名証明書(.cer ファイル) および秘密鍵証明書ファイル(パスワード付きの.PFX ファイル)を持つことになります。
- すべての Office 365 バックアップについて Azure で前提条件をセットアップするには、「<u>前提条件と考慮事項の確認</u>」を参照してください。前提条件をすでに展開している場合は、この手順をスキップします。

<u>にこをクリック</u>]リンクの手順を実行した後、UDP Console から以下の手順に従います。

- 1. 秘密鍵証明書(.PFX ファイル)を参照し、パスワードを入力します。
- 2. 次へ]をクリックしてノード登録を続行します。

注: 複数のプランの作成で同じ証明書を使用する場合は、Azure ポータル で証明書を1回アップロードするだけで十分です。

プランにノードを追加	
Exchange Online ソースの追加	
セキュリティ証明書の使用	
ステップ Ⅰ ፡	<u> </u>
○新しい自己署名証明書の生成とダウンロード	注: [既存の証明書の使用] UIオブションを使用して、CA (Certifying Authority)により発行されたサード パーティ セキュリティ証明書により、す に前提条件を展開している場合は、この手順を省略してください。
▲ 証明書のダウンロード	すべての Office 365 バックアップ用に Azure で前提条件を設定するには
証明書パスワード	
ヘルプ	前に戻るの次へ

Azure で証明書をアップロードし、グローバル権限を割り当てる方法

以下の手順に従います。

- 1. Azure で証明書をアップロードするには、Azure ポータルにサインインします。
- 2. アプリの登録を検索します。
- 3. UDP365 などの名前でアプリケーションを作成します。
- 今後使用するために、アプリケーション(クライアント) ID 属性を⊐ピーして保存します。
- 5. 証明書とシークレット]に移動します。
- 6. 新規または既存の証明書(.cer ファイル)を参照し、 証明書のアップロード]をクリックします。
- 7. Azure ポータルからログアウトして閉じます。
- 8. 以下の PowerShell スクリプトをダウンロードします。

https://s3.amazonaws.com/cloud_ config/AssignGlobalAdminRoleToADApplication.ps1

スクリプトを実行して、Arcserve UDP にアプリケーション権限を付与します。
 PowerShell スクリプトでは、以下の構文を使用します。

./AssignGlobalAdminRoleToADApplication.ps1 <AzureAD_applicationID>

注: PowerShell からスクリプトを実行するには、PowerShell バージョン 5.1 以降を使用します。

Exchange Online バックアップ プランの作成

バックアップ プランには、Exchange Online のメール データ項目(メール、予定表の 項目、連絡先など)のバックアップを実行し、非デデュプリケーション データストアま たはデデュプリケーション データストアのいずれかにデータを保存するバックアップタ スクが含まれています。タスクはそれぞれ、ソース、デスティネーション、スケジュー ル、および他のバックアップ詳細を定義するパラメータから構成されます。

以下の手順に従います。

- 1. コンソールの [リソース] タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、「プラン]に移動し、「すべてのプラン]をクリックします。 プランを以前に作成している場合、それらのプランが中央ペインに表示されます。
- 3. 中央のペインで プランの追加]をクリックします。

プランの追加]ダイアログボックスが開きます。

- 4. プラン名を入力します。
- 5. (オプション) にのプランを一時停止]チェックボックスを選択します。

チェックボックスをオフにしてプランを再開するまで、プランは実行されません。

注: プランが一時停止された場合、進行中のジョブは一時停止されませんが、 そのプランと関連付けられたすべての対応するスケジュール済みジョブが一時停 止されます。ただし、ジョブを手動で実行することができます。たとえば、それぞれ のプランが一時停止されている場合でも、バックアップジョブとレプリケーションジョ ブを手動で実行できます。このような場合、オンデマンド(手動)ジョブに対する以 下のタスクは実行されません。たとえば、オンデマンドのバックアップジョブの後にレ プリケーションタスクがある場合、そのレプリケーションジョブはオンデマンドのバック アップジョブに対して実行されません。手動でレプリケーションジョブを実行する必 要があります。プランを再開しても、保留中のジョブがすぐに再開されることはあり ません。プランの再開後、次にスケジュールされている時刻から保留中のジョブが 実行されます。

 6. **タスクの種 類**]ドロップダウン リストで、 **「バックアップ:** Office 365 Exchange Online]を選 択します。

プランの追加	ローカル サイト-新規のプラン	□ このブランを一時停止	保存
タスク1: パックアップ: Office 365 Exchange Online	タスクの種類	e 365 Exchange Online	
 タスクの追加 		ション スケジュール 拡張	
製品の心ストール	バックアップ プロキシ	→ 注助口	
	●追加 削除	l de la constante de la constan	
	Exchange Online ソース	保護されているユーザ	
	バックアップから除外するフォルダ	 すべてのフォルダをパックアップする バックアップは、すべてのフォルダを保護します。 パックアップから除外するフォルダを選択する バックアップは、<i>以下で選択されたものを除き、</i>すべてのフォルダを保護します。 	
	詳細設定オブション	 □ インプレース アーカイブのバックアップ □ 回復可能なアイテムのバックアップ ⑦ バックアップに回復可能なアイテム フォルダを含めると、バックアップの期間が増加します。回復可能なアイテム フォルダには、訴訟ホールド中に使用されたデータおよびユーザがメールボックスから削除したデータが含まれています。 	
<u>[ソース</u>]、 <u>「デスティオ</u> ます。	<u>ヽーション</u>]、 <u>スケシ</u>	<u>^シュール</u>]、および <u>肱張</u>]の詳細を指定し	

ソースの指定

「シース」ページでは、保護する Exchange Online ソースノードを指定できます。プランには複数の Exchange Online ノードを選択できます。まだノードをコンソールに追加していない場合、「シース」ページから Exchange Online ソースノードを追加できます。

注: どんなソースノードも追加せずにプランを保存できますが、プランはノードを追加しない限り展開されません。

Exchange Online 保護に対するパブリックフォルダメールボックスのサポートを使用 して Exchange Online ノードを管理することもできます。

以下の手順に従います。

1. [ソース]タブをクリックします。

プランの追加	ローカル サイトー新規のブラン ロップランを一時停止
タスク1: バックアップ: Office 365 Exchange Online	タスクの種類 バックアップ: Office 365 Exchange Online v
 タスクの追加 	ソース デスティネーション スケジュール 拡張
製品の心ストール	バックアップ プロキシ appx11j - 追加
	●追加
	 Exchange Online ソース 保護されているユーザ newhold
	 バッウアップから除外するフォルダ すべてのフォルダをバッウアップする バッウアップは、すべてのフォルダを保護します。 バッウアップから除外するフォルダを選択する バックアップは、以下で選択されたものを除き、すべてのフォルダを保護します。
	詳細設定オブション □ インブレース アーカイブのバックアップ □ 回復可能なアイテムのバックアップ ④ パックアップに回復可能なアイテム フォルダを含めると、バックアップの期間が増加します。回復可能なア イテム フォルダには、訴訟ホールド中に使用されたデータおよびユーザがメールボックスから削除したデータ が含まれています。

- 2. ドロップダウン リストから、バックアップ プロキシを選択します。
- 3. 次のオプションのいずれかを使用して Exchange Online ノードを追加します。
 - 追加]をクリックし、次に [Arcserve UDP で保護するソースの選択]を クリックします。

プランにノードを追加]ダイアログボックスが表示されます。

b. **すべての Office 365 Exchange ソースを保護する**]チェックボック スをオンにし、すべてのページですべての Exchange Online アカウ ントを保護します。

注:保護されているリストにすべての Exchange Online アカウント を追加するには、右向き矢印(>)をクリックします。

選択した Exchange Online アカウントが追加されます。

 Arcserve UDP で、追加]をクリックし、次に [xchange Online ソースの 追加]をクリックします。

注:その他のノードとは異なり、「すべてのノード]ページから Exchange Online ノードを追加することはできません。プラン内にのみ、またはプラ ンを編集する場合のみ Exchange Online ノードを追加することができ ます。

複数の Exchange Online ノードで Exchange Online の同一のユーザア カウント(サービス アカウント)を使用できます。

「ノードの追加」をクリックした後、基本認証または先進認証を選択して、プランごとに Exchange ノードを追加できます。

基本認証の場合、以下の情報を入力します。

- ◆ ノード名
- ◆ ユーザ名
- ◆ パスワード

先進認証の場合、以下の情報を入力します。

- ノード名
- ◆ アプリケーション ID
- → ユーザ名

注: ノードの作成後に Exchange Online ノード名を変更することはできません。

プラン	こノードを追加	o X
Exchang (1)	te Online ソースの追加 保護するすべてのメールボックスでバックアップ アカウントが Discovery Management および ApplicationImpersonation 役割グループのメンバであることを確認します。 詳細については、「ソリューション ガイド」を参照してください。	
	D Exohange Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。	
۲	モダン認証 セキュリティ証明書を使用してバックアップを作成します。	
0	基本認証 ユーザ名とパスワードを使用してバックアップを作成します。	
AJK.	ブ 次へ キャン	セル

a. セキュリティ証明書を使用して UDP アプリケーションを認証する には、「セキュリティ証明書の使用方法」を参照してください。

プランにノードを追加	
Exchange Online ソースの追加	
セキュリティ言語の使用	
ステップ Ⅰ ፡	ステップ 2
● 新しい自己署名証明書の生成とダウンロード	注: [既存の証明書の使用] UIオブショ) Authority) により発行されたサード パー に前提条件を展開している場合は、この
▲ 証明書のダウンロード	
○ 既存の証明書 (プライベート証明書 pfx ファイル)を使用	すべての Office 865 ハックバッフ用に Az ここをクリックします
ヘルプ	

b. Azure ポータルに証明書をアップロードした後、UDP コンソールにはノード名、アプリケーション ID、ユーザ名が表示されます。
 AzureAD 管理者に同意するには、チェックボックスを選択し、
 接続]をクリックしてノードを登録します。

注: 管理者ユーザ名]の<u>前提条件</u>を満たす Exchange Online のバックアップ アカウントのユーザ名 を入力します。

Exchange Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。 ノード名 アブリケーション ID ユーザ名 username®domain □ Arcserve UDP では AsureAd アブリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能にます。一部の API 権限 が AsureAd アブリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AsureAd アブリに初り当てられます。同意を確認	change Online ソースの追加		
ード名 ー プリケーション ID ー はーザ名 username®domain ローゲ名 username®domain ローゲ名 Arcserve UDP では AzureAd アプリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。一部の API 権限 が AzureAd アプリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アプリに割り当てられます。同意を確認 してから、次に進んでくたさい。	❶ Exchange Online ノードの	追加後に、ノード名を変更することはできません。	
 プリケーション ID ー・ザ名 usemame部domain Arcserve UDP では AsureAd アブリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。一部の API 権限 が AzureAd アブリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アブリに割り当てられます。同意を確認 してから、次に進んでくたさい。 	一 ド名		
-ザ名 username@domain Arcserve UDP では AzureAd アブリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。一部の API 権限 が AzureAd アブリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アブリに割り当てられます。同意を確認 してから、次に進んでくたさい。	プリケーション ID		
□ Arcserve UDP では AzureAd アプリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。 一部の API 権限 が AzureAd アプリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アプリに割り当てられます。 同意を確認 してから、次に進んでください。	一ザ名	usemame®domain	
□ Arcserve UDP では AzureAd アプリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。 一部の API 権限 が AzureAd アプリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アプリに割り当てられます。 同意を確認 してから、次に進んでください。			
□ Arcserve UDP では AzureAd アブリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。 一部の API 権限 が AzureAd アブリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アブリに割り当てられます。 同意を確認 してから、次に進んでください。			
□ Arcserve UDP では AzureAd アガリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。一部の API 権限 が AzureAd アプリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アプリに割り当てられます。同意を確認 してから、次に進んでください。			
	Aroserve UDP では AzureAd ア が AzureAd アブリに追加され、管 してから、次に進んでください。	力が設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適な 理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アフ	ルに機能します。一部の API 権限 リに割り当てられます。同意を確認

ユーザ アカウントの更新または変更を行うと、保護されている メールボックスの数が変更される場合があります。新規または 更新されるサービス アカウントが、保護されるメールボックスの偽 装権限を持っていることを確認してください。

c. 保護する Exchange Online アカウントを選択し、右向き矢印 (>)をクリックして保護されているリストに移動します。

注: 「すべての Office365 Exchange ソースを保護する] チェック ボックスをオンにし、すべてのページですべての Exchange Online アカウントを保護します。保護されているリストに、ページに表示 されるすべての exchange online アカウントを追加するには、右 向き矢印(>)をクリックします。

d. **保存**]をクリックします。

選択した Exchange Online アカウントが追加されます。

- 4. [ソース]タブで、 [**バックアップから除外 するフォルダ**]に移動し、目的のチェックボックスをオンにします。
- 5. 詳細設定オプション]で、目的のチェックボックスをオンにします。
 - ◆ Exchange Online 保護でアーカイブメールボックスをサポートするには、
 [インプレース アーカイブのバックアップ]チェックボックスをオンにします。

注: アーカイブメールボックスの詳細については、<u>リンク</u>を参照してくだ さい。

◆ メールボックスの保護を有効にするには、回復可能なアイテムのバッ クアップ]のチェックボックスをオンにします。インプレースホールドまたは 訴訟ホールド機能が有効になります。

注: Exchange Online のアーカイブのインプレースホールドと訴訟ホール ドについては、リンクを参照してください。

注:メールボックスで両方の機能を同時に有効にしてアーカイブメールボックスの回復可能なアイテムをバックアップするには、「インプレース アーカイブのバックアップ」と回復可能なアイテムのバックアップ」の両方のオプションを選択します。

デスティネーションの指定

送信先はバックアップデータを保存する場所です。少なくともプランを保存するためのデスティネーションを指定する必要があります。

以下の手順に従います。

- 1. 「デスティネーション」タブをクリックします。
- Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ]オプションを選択します。 Arcserve UDP 復 旧ポイント サーバ]はバックアップ先が復旧ポイント サーバであることを指定しま す。このオプションを選択すると、データは復旧ポイントとして保存されます。データ を復旧セットとして保存できません。
- 3. 以下の詳細を指定します。
 - a. 復旧ポイント サーバを選択します。
 - b. 非デデュプリケーションまたはデデュプリケーション データ ストアを選択します。
 指定された復旧ポイント サーバで作成されるデータ ストアをすべて示すリストが表示されます。
 - c. セッション パスワードを入力します。 バックアップ先が、暗号化されていない RPS データ ストアの場合、 セッション パスワード はオプションです。

d. セッション パスワードを確認します。

デスティネーションが指定されます。

スケジュールの指定

[スケジュール]ページでは、特定の間隔で繰り返されるバックアップ、マージ、およびスロットル機能のスケジュールを定義できます。スケジュールを定義した後、ジョ

ブはスケジュールごとに自動的に実行されます。複数のスケジュールを追加し、保存設定を提供できます。

[バックアップスケジュール]は、選択した時間または分数に基づいて一日に複数 回繰り返される通常のスケジュールを指します。標準スケジュールに加えて、バッ クアップスケジュールには、毎日、毎週、および毎月のスケジュールを追加するオ プションが用意されています。

注: スケジューリングと保存設定の詳細については、「<u>高度なスケジュールおよび</u> 保存」を参照してください。

以下の手順に従います。

バックアップスケジュール、マージスケジュール、およびスロットルスケジュールを追加します。

バックアップ スケジュールの追加

a. 追加]をクリックして [バックアップスケジュールの追加]を選択します。 新規のバックアップスケジュール]ダイアログボックスが開きます。

新規のバックアッフ	「スケジュール			3
カスタム				Ŧ
バッウアップの種類	增分			
開始時刻	8:00	<u>879</u>		
	 ✓ 日曜日 ✓ 水曜日 ✓ 土曜日 	✓ 月曜日 ✓ 月曜日	✓火曜日 ✓ 火曜日	
繰り返し実行する	V			
	間隔 3	時間	Ŧ	
	終了 18.0	00	<u>195</u>	
ヘルプ			保存	キャンセル

b. 以下のオプションから1つを選択します。

カスタム

1日に複数回繰り返すバックアップスケジュールを指定します。

毎日

1日に1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。 毎 日]バックアップの場合、デフォルトでは、すべての曜日が選択されま す。特定の曜日にバックアップジョブを実行しない場合は、その曜日 のチェックボックスをオフにします。

毎週

週1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。

毎月

月1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。

c. バックアップの種類を選択します。

フル

フル バックアップのバックアップ スケジュールを指定します。Arcserve UDP はスケジュールに従って、ソース マシンで使用されているすべての ブロックのフル バックアップを実行します。フル バックアップにかかる時間 は、通常、バックアップのサイズに左右されます。

増分

増分 バックアップのバックアップ スケジュールを指定します。

スケジュールされたとおりに、前回の成功したバックアップ後に変更さ れたブロックのみの増分 バックアップが Arcserve UDP によって実行され ます。増分 バックアップのメリットは、バックアップを高速で実行できるこ と、また作成されるバックアップ イメージのサイズが小さいことです。これ は、バックアップの実行に最も適した方法です。

- d. バックアップの開始時刻を指定します。
- e. (オプション) **繰り返し実行する**]チェックボックスをオンにして繰り返しスケ ジュールを指定します。
- f. 保存]をクリックします。

[バックアップスケジュール]が指定され、 [スケジュール]ページに表示されます。

タイプ	說明	B	月	火	水	木	숲	±	時刻
۲	週次増分パックアップ						•		22:00
۲	カスタム 増分 バックアップ (3 時間 ごと)	<	~	1	~		×	~	8:00 - 18:00

マージ スケジュールの追加

- a. 追加]をクリックして マージ スケジュールの追加]を選択します。 新しいマージ スケジュールの追加]ダイアログ ボックスが開きます。
- b. マージジョブを開始する開始時刻を指定します。
- c. **終了**]を指定して、マージジョブの終了時刻を指定します。
- d. **保存**]をクリックします。

マージ スケジュール]が指定され、 **スケジュール**]ページに表示されます。 スロットルスケジュールの追加 a. 追加]をクリックして スロット ルスケジュールの追加]を選択します。 新しいスロット ルスケジュールの追加]ダイアログ ボックスが開きます。

- b. 分単位のMBでスループット制限を指定します。
- c. バックアップスループットジョブを開始する開始時刻を指定します。
- d. 終了]を指定して、スループットジョブの終了時刻を指定します。
- e. **保存**]をクリックします。

[スロットルスケジュール]が指定され、 [スケジュール]ページに表示されます。

2. スケジュール済みバックアップの開始時刻を指定し	ノ ます。
----------------------------	--------------

最初のバックアップ (フル バックアップ)	2021/01/15	25	21	Ŧ	:	00	*	
復旧ポイントの保存	日次バックアップ							
	週次バックアップ			5	;			
	月次バックアップ							
	カスタム/手動バックアップ			3	1			

3. bスタム]、 毎 日]、 毎 週]、および 毎 月]スケジュールに対して復 旧 ポイント 保存設定を指定します。

これらのオプションは、対応するバックアップスケジュールを追加している場合に有効になります。このページで保存設定を変更すると、変更が [バックアップスケジュール]ダイアログボックスに反映されます。

スケジュールが指定されます。

高度なスケジュールおよび保存

スケジュールオプションでは、カスタムスケジュール、または毎日/毎週/毎月のスケ ジュール、あるいはこの両方を指定できます。カスタムスケジュールでは、曜日ごと にバックアップスケジュールを設定でき、1日に最大4つのバックアップスケジュール を追加できます。特定の曜日を選択し、時間帯を作成して、バックアップをいつ、 どのような頻度で実行するかを定義します。

スケジュール	サポートされる ジョブ	コメント
バックアップ	バックアップ ジョブ	バックアップ ジョブを実行する時間帯を定義します。
バックアップ スロッ トル	バックアップ ジョブ	バックアップ速度を制御する時間帯を定義します。
マージ	マージ ジョブ	マージジョブをいつ実行するかを定義します。
毎日のスケジュー ル	バックアップ ジョブ	毎日のバックアップジョブをいつ実行するかを定義しま す。
毎週のスケジュー ル	バックアップ ジョブ	毎週のバックアップジョブをいつ実行するかを定義しま す。

毎月のスケジュー	バックマップ ジュブ	毎月のバックアップジョブをいつ実行するかを定義しま
ル	ハックアック ショノ	す。

復旧ポイントの保存設定も指定できます。

注: 各プラン内で保存設定を設定して、そのプランが割り当てられたノードのデー タを、ターゲットデータストアで保存する方法を制御します。

毎日/毎週/毎月のバックアップスケジュールはカスタムスケジュールとは別のものであり、それぞれも独立しています。 カスタムスケジュールを設定せずに、毎日、毎週、または毎月のバックアップのみを実行するように設定できます。

バックアップ ジョブ スケジュール

バックアップスケジュールでは1日当たり4つの時間帯を追加できます。有効な時間帯は午前00:00から午後11:59までです。午後6:00~午前6:00などの時間帯は指定できません。そのような場合は、手動で2つの時間帯を指定する必要があります。

各時間帯の開始時刻はその時間帯に含まれますが、終了時刻は含まれま せん。たとえば、午前 6:00 から午前 9:00 の時間帯で増分バックアップを1時 間ごとに実行するように設定したとします。この場合、バックアップは午前 6:00、午前 7:00、午前 8:00 には実行されますが、午前 9:00 には実行されま せん。

注: バックアップジョブを1日の最後まで繰り返し実行する場合は、午前0 時までスケジュールを設定します。たとえば、バックアップジョブを1日中15分 おきに実行するには、スケジュールを午前0時から午前0時まで15分おきに 設定します。

バックアップ スロットルスケジュール

バックアップスロットルスケジュールでは、バックアップスループット速度を制御で きます。これにより、バックアップ対象のサーバのリソース使用量(ディスクI/O、 CPU、ネットワーク帯域幅)を抑制することができます。これは、営業時間中に サーバのパフォーマンスに影響を与えたくない場合に役立ちます。バックアップ スロットルスケジュールでは1日当たり4つの時間帯を追加できます。各時 間帯に、MB/分という単位で値を指定できます。この値に基づいてバックアッ プスループットが制御されます。有効な値は1MB/分から99999 MB/分で す。

バックアップ ジョブが指定された時刻を越えて実行される場合、スロットル制限は指定されているそれぞれの時間帯に従って調節されます。たとえば、バックアップのスロットル制限を、午前8:00から午後8:00までは500 MB/分、午後8:00から午後10:00までは2500 MB/分と定義したとします。バックアップジョブが午後7:00に開始し、それが3時間続く場合、午後7:00から午後8:00までのスロットル制限は500 MB/分になり、午後8:00から午後10:00までは2500 MB/分になります。

ユーザがバックアップスケジュールおよびバックアップスループットスケジュールを 定義しない場合、バックアップは可能な限り速い速度で実行されます。

マージ スケジュール

指定したスケジュールに基づいて復旧ポイントをマージします。

マージジョブでは、以下の点を考慮してください。

- ◆常に、1つのノードに対して1つのマージジョブのみ実行できます。
- マージ ジョブが開始された場合、それが完了しない限り、次のマージ ジョブは開始できません。つまり、復旧ポイントの1つ以上のセットをマージしている場合、復旧ポイントの現在のセットのマージプロセスが完了するまで、マージプロセスに新しい復旧ポイントを追加することはできません。
- ◆ 1 つのマージ ジョブが復旧ポイントの複数のセット(たとえば、1 ~ 4、5 ~ 11、 12 ~ 14 の3 つのセット)を処理する場合、復旧ポイントサーバはこれらのセットを1 つずつ処理します。
- ◆ マージ ジョブがー 時 停止の後に再開される場合、ジョブは、どの時点で一時
 停止されたかを検出し、その中断された時点からマージを再開します。

拡張設定の指定

肱張]タブでは、バックアップジョブの一部の拡張設定を指定できます。拡張設定には、スクリプトのロケーションの提供、電子メールの設定などが含まれます。 以下の図は**肱張**]タブを示しています。

ソース デスティ	ネーション スケジュール 拡張						
Exchange Online の保護タスクを実行するには、バッケアップ前およびバックアップ後のスクリプトがプロキシ サーバ上に存在する必要があります。							
バックアップ開始前にコマンドを	実行						
バックアップ完了後にコマンドを	■ 終了コード 0 ④ ジョブを持行 ◎ ジョブを中止 実行						
	□ 泊力が失敗した場合でもコマンドを実行						
コマンド用ユーザ名							
コマンド用パスワード							
電子メール アラートの有効化	▼ 電子メールの設定						
ジョブ アラート	□ ジョブを実行できない場合						
	□ 復旧ポイントのバッウアップ、レブリケーション、リストア、またはコピー ジョブが失敗/ワラッシュ/キャンセルされました						
	□ 復旧ポイントのバックアップ、レブリケーション、リストア、またはコピー ジョブが正常に完了しました						
	□ マージ ジョブが停止、スキップ、失敗、またはクラッシュした場合						
	□ マージ ジョブが成功した場合						

以下の手順に従います。

1. 以下の詳細を指定します。

バックアップ開始前にコマンドを実行する

バックアップジョブを開始する前にスクリプトを実行できます。プロキシノード内 のスクリプトの保存場所のパスを指定します。 **終了コード**]をクリックし、**ジョ** ブを続行]または ジョブを中止]の終了コードを指定します。 ジョブを続行] で指定すると、スクリプトが終了コードを返すときバックアップジョブが続行され ます。 ジョブを中止]で指定すると、スクリプトが終了コードを返すときバック アップジョブが停止します。

バックアップ完了後にコマンドを実行する

バックアップ ジョブが完了した後にスクリプトを実行できます。スクリプトの保存 場所の完全パスを指定します。

Run a command even when the job fails (ジョブが失敗した場合でもコマンドを 実行する)

このチェックボックスを選択した場合は、バックアップジョブが失敗した場合で も、「**ジックアップ完了後にコマンドを実行する**」で指定したスクリプトが実行さ れます。そうしない場合、バックアップジョブが正常に完了した場合にのみ、そ のスクリプトが実行されます。

コマンドのユーザ名

コマンドを実行するユーザ名を指定できます。

コマンド用パスワード

コマンドを実行するパスワードを指定できます。

電子メールアラートの有効化

電子メールアラートを有効にすることができます。電子メール設定を指定し、 電子メールで受信するアラートの種類を設定することができます。このオプショ ンを選択すると、以下のオプションを選択できるようになります。

電子メール設定

電子メール設定を指定できます。**電子メールの設定**]をクリックし、電子 メールサーバおよびプロキシサーバの詳細を設定します。電子メールの設 定方法の詳細については、「<u>電子メールとアラートの環境設定</u>」を参照し てください。

ジョブ アラート

受信するジョブアラート電子メールの種類を選択します。

2. 保存]をクリックします。

注: バックアップ ソースまたはバックアップ プロキシとしてノードを選択 すると、 Arcserve UDP は、プロキシノードにエージェント がインストールされているかどうか、 またそのエージェントが最新 バージョンかどうかを確認します。その後、Arcserve UDP は、古いバージョンのエージェントがインストールされているすべてのノードまた はエージェントがインストールされていないすべてのノードのリストを示す確認ダイア ログ ボックスを表示します。エージェントをこれらのノードにインストールしたり、エー ジェントをアップグレードしたりするには、インストール方式を選択して **保存**]をク リックします。

変更が保存され、タスク名の隣に緑のチェックマークが表示されます。 プランページが閉じられます。

注: 別のタスクを追加する必要がある場合、 **リソース**]タブからプランを選択し、 このプランを変更する必要があります。 プランを変更するには、中央ペインでプラン をクリックします。 プランが開き、それを変更できます。 フォローアップ タスクとして、

腹旧ポイントのコピー]、 テープへのコピー]、 レプリケート]、および リモート RPS からレプリケート]タスクを追加できます。

プランは、自動的にプロキシサーバノードに展開されます。

プロキシ サーバの Exchange Online バックアップ プランが作 成されます。バックアップ は、 **スケジュール**]タブで設 定したスケジュールに従って実 行されます。また、手 動 バックアップはいつでも実 行 できます。

(オプション)手動バックアップの実行

通常、バックアップは自動的に実行され、スケジュール設定によって制御されま す。スケジュールされたバックアップの他、手動バックアップには、必要に応じてノー ドをバックアップするオプションがあります。たとえば、フル、増分、検証バックアップを 繰り返し実行するスケジュールが設定されている状況でマシンに大幅な変更を 加える場合、次にスケジュールされたバックアップを待つのではなく、すぐに手動 バックアップを実行する必要があります。

Exchange Online ノードの手動バックアップを実行する以下の手順に従います。

- 1. コンソールから [リソース]タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、 「ノード」に移動し、 「すべてのノード」をクリックします。 Exchange Online ノードが中央のペインに表示されます。
- 3. バックアップの対象で、プランが割り当てられている Exchange Online ノード(たとえば、Mailbox@<organizationname.com>)を選択します。ノード名は、Exchange Online ノードの追加および接続時に使用されるアカウントです。
- 中央のペインで、「アクション」、「今すぐバックアップ」の順にクリックします。
 今すぐバックアップを実行」ダイアログボックスが開きます。
- 5. バックアップの種類を選択し、必要に応じて、バックアップジョブの名前を指定します。

6. **[DK**]をクリックします。

バックアップジョブが実行されます。

Exchange Online プランの手動バックアップを実行する以下の手順に従います。

- 1. コンソールから [リソース]タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、「プラン]に移動し、「すべてのプラン]をクリックします。 Exchange Online バックアップ プランが中央のペインに表示されます。
- 3. バックアップの対象で、プランが割り当てられているプランを選択します。
- 中央のペインで、アクション]、 今すぐバックアップ]の順にクリックします。
 今すぐバックアップを実行]ダイアログボックスが開きます。
- 5. バックアップの種類を選択し、必要に応じて、バックアップジョブの名前を指定します。
- 6. **[DK**]をクリックします。

バックアップジョブが実行されます。

手動バックアップが正常に実行されます。

多要素認証の設定

組織 がユーザに対して基本認証と共に MFA (多要素認証)を有効化している 場合、Office 365 バックアップ プランでは、バックアップ サービス アカウント 用のアプリ パスワードを使用する要設定する必要があります。

多要素認証をサポートするように Arcserve UDPを設定するには、以下の手順を 実行します。

- 1. アプリパスワードを設定するバックアップサービスアカウントの有効化
- 2. バックアップサービスアカウント用のアプリパスワードの作成

注:現在 MFA 認証(アプリパスワード)は、O365 Exchange Onlin および SharePoint Online バックアップでのみサポートされています。

アプリパスワードを設定するバックアップ サービス アカウ ントの有効化

設定するには、まずアプリパスワードを設定するバックアップ サービス アカウントを 有効化します。

以下の手順に従います。

1. 管理者アカウントの認証情報を使用して Microsoft Office 365 にサインインし、 管理者アイコンをクリックします。

← → C â office.com/?auth=2							
Office 365		🔎 Search					
Good morn	ing						
+	💁 📥	w	×	•	N	4	
Start new	Outlook OneDrive	Word	Excel	PowerPoint	OneNote	SharePoint	
Admin 4	→ All apps						

Microsoft 365 管理センター]画面から ユーザー]> アクティブなユーザー]に移動します。



3. アクティブなユーザー]画面から、 **多要素認証**]オプションをクリックします。

重要: [...)]オプションが表示されない場合は、サブスクリプションのグローバル管理者でありません。

÷	← → C admin.microsoft.com/AdminPortal/Home#/users							
	III Microsoft 365 admin center							
≡			Arcserve India Software Solutions Lir	nited	🔅 Light mode			
ŵ	Home		Active users					
8	Users	^						
	Active users							
	Contacts		 Due to a recent increase in Teams usa assign Teams policies to them, and th 	ige, when you assign a Teams license to a user it may take around 24 hours ey might not have access to some Teams features like calling and audio co	s before they'll be fully set up. Inferencing. Check status			
1	Guest users							
	Deleted users		우, Add a user 🔄 User templates	🖧 Add multiple users 🛔 Multi-factor authentication 🛛 …	Search			
e ^R	Groups	~			1			
8	Billing	~	Display name	Username	Licenses			
P	Setup		Barries II		Office 365 E3			
0	Customize navigation				Office 365 E3			

[Azure Multi-Factor Authentication の設定] が表示されます。

手順4と5は一度だけ設定する必要があります。手順6にスキップしてください。

÷	← → C 🔒 account.activedirectory.windowsazure.com/UserManagement/MultifactorVerification.aspx?BrandContextID=O365							
muse	ulti-factor au ers service settir	thentication ^{ngs}						
Note Befo	: only users licensed to use re you begin, take a look at	Microsoft Online Services are eligible for Multi-Factor Authent the multi-factor auth deployment guide.	ication. Learn more about how to licen	se other users.				
	bulk update							
Vie	tw: Sign-in allowed users	▼ 🎾 Multi-Factor Auth status: Any 🔻						
	DISPLAY NAME 🔺	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS					
			Disabled	Soloct a usor				
			Disabled	Select a user				
			Disabled					
			Disabled					
_								

- 4. 多要素認証]画面で、 サービス設定]をクリックします。
- 5. アプリパスワードから、 ブラウザではないアプリへのサインイン用 にアプリパスワード の作成を許可する]チェック ボックスをオンにします。



新しいパスワードの作成後、クライアント Office アプリを使用できます。

6. 保存]をクリックしてウィンドウを閉じます。

[ユーザー]画面に戻ります。

7. [ユーザー] 画面から、以下の手順を行います。
a. MFA を有効化するユーザのチェックボックスをオンにします。

← m use	→ C account.e ulti-factor aut ers service settin	ctivedirectory.windowsazure.com/Use hentication gs	rManagement/MultifactorVerification.aspx?Bra	indContextID=0365
Note Befo	e: only users licensed to use it re you begin, take a look at t bulk update ew: Sign-in allowed users	Aicrosoft Online Services are eligible for Mu he multi-factor auth deployment guide.	Iti-Factor Authentication. Learn more about how to I	icense other users.
	DISPLAY NAME	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS	
			Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled	quick steps Enable Manage user settings

b. **有効にする**]をクリックします。

÷	→ C account.act	ivedirectory.windowsazure.com/UserManagement/Mul	tifactorVerification.aspx?Brand0	ContextID=0365		
multi-factor authentication users service settings Note: only users licensed to use Microsoft Online Services are eligible for Multi-Factor Authentication. Learn more about how to license other users. Before you begin, take a look at the multi-factor auth deployment guide.						
Vie	Sign-in allowed users	▼ 👂 Multi-Factor Auth status: Any ▼				
	DISPLAY NAME +	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS			
			Disabled			
			Disabled			
			Disabled			
			Disabled	quick steps		
			Disabled	Enable Manage user settings		
			Disabled			
			Disabled			
			Disabled			
۲			Disabled			

ダイアログ ボックスが表示されます。

c. ダイアログ ボックスから、 [Multi-Factor Auth を有効にする]をクリックします。





アプリパスワードを設定するバックアップサービスアカウントが有効化されました。

バックアップ サービス アカウント 用のアプリパスワードの 作成

アプリパスワードを設定するバックアップサービス アカウントを有効化した後、バック アッププランではバックアップサービス アカウント用のアプリパスワードを使用する必要があります。 バックアップサービス アカウントのアプリパスワードを作成する必要 があります。

以下の手順に従います。

- 1. 職場または学校アカウントとパスワードで Office 365 (https://myprofile.microsoft.com/) にサインインします。
- 2. 追加のセキュリティ確認]をクリックします。

← → C 🔒 myprofile.n	icrosoft.com	
${\it iii}$ My Account \sim		
A Overview		
🔗 Security info		
Devices		Security info
🔍 Password	Sciences Toukutche	81
🖻 Organizations	M	
A Privacy		Keep your ventication methods and security info up to date.
₿ My sign-ins (preview)	6	SET UP SELF-SERVICE PASSWORD RESET
😋 Office apps		ADDITIONAL SECURITY VERIFICATION >
Subscriptions	Why can't Ledit? ①	

追加のセキュリティ確認]画面が表示されます。

← → C 🗎 account.activedirectory.windowsazure.com/proofup.aspx
Additional security verification
When you sign in with your password, you are also required to respond from a registered device. This makes it harder for a hacker to sign in with just a stolen password. View video to know how to secure your account
what's your preferred option?
We'll use this verification option by default.
Text code to my authentication p *
how would you like to respond?
Set up one or more of these options. Learn more
Authentication phone India (-91)
Authenticator app or Token Set up Authenticator app
Save
Your phone numbers will only be used for account security. Standard telephone and SMS charges will apply.

- 3. 追加のセキュリティ確認]画面で以下の手順を実行します。
 - a. 認証方法を選択し、ページの指示に従います。

たとえば、電話認証を選択した場合、国を選択して電話番号を入力する必要があります。確認コードを取得する方法を選択することもできます。

← → C 🔒 account.a	ctivedirectory.windowsazure.com/proofup.aspx
Additional securi	ity verification App Passwords
When you sign in with your password, View video to know how to secure you	you are also required to respond from a registered device. This makes it harder for a hacker to sign in with just a stolen password, ur account
what's your preferred optio	n?
We'll use this verification option by de	efault.
Text code to my authentication $\wp\mathbf{v}$	
how would you like to resp	ond?
Set up one or more of these options.	Learn more
 Authentication phone 	India (+91) V
Authenticator app or Token	Set up Authenticator app
Save 201 cancel	

Your phone numbers will only be used for account security. Standard telephone and SMS charges will apply.

b. **アプリパスワード**]をクリックします。

アプリパスワード]画面が表示されます。				
← → C account.activedirectory.windowsazure.com/AppPasswords.aspx				

additional security verification app passwords

To sign into Outlook, Lync or other apps installed on your computer or smart phone, you'll need to create an app password. When prompted by the app, enter the app password instead of your work or school account password.

You can use the same app password with multiple apps or create a new app password for each app. How do I get my apps working with app passwords?

Note: If you are an admin of a Microsoft service, we recommend not using app passwords.

Bookmark this page

create

c. **作成**]をクリックします。 アプリパスワードの作成]画面が表示されます。

第2章: バックアップに Arcserve Cloud インスタンスを使用する 41

(i)	
Create app password	
Enter a name to help you remember where you use this password.	
Name: Office365	
	next Cancel

d. 「アプリパスワードの作成]画面で、名前を入力し、 (次へ)をクリックします。

Outlook、Apple メール、およびその他の電子メールオプションで使用できるア プリパスワードが表示されます。

(i)			
Your app passw	ord		
Name: Office365			
Note: This password will no	t be displayed again.		
Password: Note: This password will no copy password to	t be displayed again. clipboard		
Password: Note: This password will no copy password to	t be displayed again. clipboard		

e. **[パスワードをクリップボードにコピーする**]オプションを選択すると、パスワード がクリップボードにコピーされます。

\leftrightarrow \rightarrow C \square accou	nt.activedirectory.windowsazure.com/AppPasswords.aspx
# /	
additional sec	urity verification app passwords
To sign into Outlook, Lync or oth password instead of your work o	er apps installed on your computer or smart phone, you'll need to create an app password. When prompted by the app, enter the app r school account password.
You can use the same app passw	ord with multiple apps or create a new app password for each app. How do I get my apps working with app passwords?
Note: If you are an admin of a M	crosoft service, we recommend not using app passwords.
Bookmark this page	
create	
NAME	DATE CREATED
Office365	6/5/2020 Delete

バックアップ サービス アカウント 用のアプリパスワード が作成されました。

SharePoint Online バックアップ プランを作成する方法

SharePoint 保護を使用して、Microsoft SharePoint Online サイトとリスト アイテムを バックアップおよびリストアします。SharePoint Online は、Microsoft Office 365 の主 要製品の1つです。SharePoint コンテンツを保護するには、プランの作成が必要 です。

この後の手順

- 1. 前提条件と考慮事項の確認
- 2. <u>SharePoint Online バックアップ プランの作成</u>
- 3. <u>バックアップ プランの検証</u>
- 4. <u>多要素認証の設定</u>

前提条件の確認

バックアップとリストアを実行する前に、以下の前提条件を確認します。

- バックアップする SharePoint サイト コレクションの URL があること。
- バックアップアカウントがサイトコレクション管理者グループのメンバであるか、 SharePoint 管理者ロールが割り当てられていること。
 サイトコレクション管理者グループにアカウントを追加するには、リンクを参照してください。

- O365 テナントで先進認証が設定されていて、それをサポートするために Arcserve UDP が最近アップグレードされた場合、先進認証関連の設定を 使用して既存の Exchange Online ジョブを再設定する必要があります。こ れについては、「先進認証」で説明されています。
- Office 365 テナントで先進認証が設定されている場合、Arcserve UDPの バージョンは 7.0.4455 Update 2 Build 675 以降である必要があります。バー ジョンを目的のビルドにアップグレードする必要がある場合は、Arcserve サ ポートにお問い合わせください。

SharePoint Online バックアップ プランの作成

バックアップ プランには、SharePoint Online ノードのバックアップを実行し、デデュプリ ケーション データ ストアまたは非 デデュプリケーション データ ストアにデータを保存す る **[バックアップ: Office 365 の SharePoint Online**]タスクが含まれます。タスクはそ れぞれ、ソース、デスティネーション、スケジュール、および他のバックアップ詳細を定 義するパラメータから構成されます。

<u>ビデオを閲覧し、SharePoint Online バックアッププランを作成する方法を確認して</u> <u>ください</u>。

以下の手順に従います。

- 1. コンソールの [リソース]タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、「**プラン**]に移動し、「**すべてのプラン**]をクリックします。 プランを以前に作成している場合、それらのプランが中央ペインに表示されます。
- 3. 中央のペインで プランの追加]をクリックします。

プランの追加]ダイアログボックスが開きます。

- 4. プラン名を入力します。
- 5. (オプション) にのプランを一時停止]チェックボックスを選択します。

チェックボックスをオフにしてプランを再開するまで、プランは実行されません。

注: プランが一時停止された場合、進行中のジョブは一時停止されませんが、 そのプランと関連付けられたすべての対応するスケジュール済みジョブが一時停 止されます。ただし、ジョブを手動で実行することができます。たとえば、それぞれ のプランが一時停止されている場合でも、バックアップジョブとレプリケーションジョ ブを手動で実行できます。このような場合、オンデマンド(手動)ジョブに対する以 下のタスクは実行されません。たとえば、オンデマンドのバックアップジョブの後にレ プリケーションタスクがある場合、そのレプリケーションジョブはオンデマンドのバック アップジョブに対して実行されません。手動でレプリケーションジョブを実行する必 要があります。プランを再開しても、保留中のジョブがすぐに再開されることはあり ません。プランの再開後、次にスケジュールされている時刻から保留中のジョブが 実行されます。

6. **タスクの種 類**]ドロップダウンリストで、**「バックアップ:** Office 365 の SharePoint Online]を選択します。

resources	
Add a Plan	SharePoint online Plan
Task1: Backup: Office 365 SharePoint Online	Task Type Backup: Office 365 SharePoint Online 👻
Add a Task	Source Destination Schedule Advanced
Product Installation	Backup Proxy w 1-w2kr2 T Add
	SharePoint Online Source
[ソース]、「デスティネー	-ション]、 [スケジュール]、および 肱張]の詳細を指定し

ます。

ソースの指定

[ソース]ページでは、保護する SharePoint Online ソースノードを指定できます。プランには複数の SharePoint Online ソースノードを選択できます。

以下の手順に従います。

1. [ソース]タブをクリックします。

Source	Destination Sc	chedule Advanced
Backup Pro	ky w 1-w2kr2	✓ Add
€Add	Remove	
Select Sources to Protect in Arcserve UDP Add SharePoint Online Source		JDP

2. ドロップダウン リストから **[バックアップ プロキシ**]を選択します。

- 3. 以下のいずれかの方法を使用して SharePoint Online ノードを追加します。
 - 方法 1: ソースノードを追加せずに、プランを保存できます。しかし、プランは、ノードを追加しない限り展開されません。
 - a. 追加]をクリックし、次に Arcserve UDP で保護するソースの選択]を クリックします。

「プランにノードを追加]ダイアログボックスが表示されます。

注: SharePoint ノードをすでに追加している場合にのみ、このオプションを使用します。

- b. ノードを選択して 接続]をクリックします。
- 方法 2:保護する SharePoint Online ノードを検索するには、検索]を使用します。追加]をクリックし、次に SharePoint Online ソースを追加]をクリックします。

注: その他のノードとは異なり、「すべてのノード」ページから SharePoint Online ノードを追加することはできません。プランの作成または変更中にプラ ン内でのみ SharePoint Online ノードを追加できます。

4. [ノードの追加]をクリックした後、基本認証または先進認証を選択して、プラン ごとに Exchange ノードを追加できます。

基本認証の場合、以下の情報を入力します。

- ノード名
- サイト コレクション URL
- ユーザ名
- パスワード

先進認証の場合、以下の情報を入力します。

- ノード名
- サイト コレクション URL
- アプリケーション ID
- ユーザ名
- 注:ノードの作成後に Exchange Online ノード名を変更することはできません。

プランにノードを追加	ο×
SharePoint Online ソースを追加	
保護するすべてのメールボックスでバックアップ アカウントが Discovery Management および ApplicationImpersonation 役割グループのメンバであることを確認します。 詳細については、「ソリューション ガイド」を参照してください。	
● SharePoint Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。	
モダン総証 セキュリティ証明書を使用してパックアップを作成します。	
〇 基本認証 ユーザ名とパスワードを使用してバックアップを作成します。	
ヘルフ 次へ キャン	セル

セキュリティ証明書を使用して UDP アプリケーションを認証するには、「<u>セ</u> <u>キュリティ証明書の使用方法</u>」を参照してください。

プランにノードを追加	
Exchange Online ソースの追加	
セキュリティ証明書の使用	
<u> </u>	λ ¯ τップ 2
● 新しい自己署名証明書の生成とダウンロード	注: 【既存の証明書の使用】 UIオブションを使用して、CA(Certifying Authority)により発行されたサードパーティセキュリティ証明書により、す に前提条件を展開している場合は、この手順を省略してください。
	すべての Office 865 バックアップ用に Azure で前提条件を設定するには
ていて	前に戻る 次へ

5. Azure ポータルに証明書をアップロードした後、UDP コンソールにはノード名、アプリ ケーション ID、ユーザ名が表示されます。AzureAD 管理者の同意を受け入れるに は、チェックボックスを選択し、 **接続**]をクリックしてノードを登録します。

SharePoint Online ソースを追加 SharePoint Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。
ノード名
サイト コレクションの URL
アプリケーション ID
ユーザ名 username能domain
Aroserve UDP では AzureAd アプリが設定されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。一部の API 権限 が AzureAd アプリに追加され、管理者の同意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アプルに割り当てられます。同意を確認 してから、次に進んでください。
ヘルプ 前に戻る 装装 キャンセル

注:

- 単一のアカウントを使用して、複数のSharePoint Online ノードを保護できます。
- 多要素認証が有効で、テナントが基本認証を使用するように設定されている場合は、アプリパスワードを入力します。
- 6. SharePoint リスト/ライブラリ、ドキュメント、またはを保護する別のリストアイテムを 選択します。

注: Arcserve UDP 7.0 は SharePoint Online リスト、ライブラリ、およびドキュメントの みを保護します。

7. 保存]をクリックします。

保護する SharePoint Online ソースが、プランに追加されます。

デスティネーションの指定

送信先はバックアップデータを保存する場所です。少なくともプランを保存するためのデスティネーションを指定する必要があります。

以下の手順に従います。

1. **デスティネーション**]タブをクリックします。

[Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ]オプションを選択します。 [Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ]はバックアップ先が復旧ポイント サーバであることを指定します。

データを復旧セットとして保存できません。

- 2. 以下の操作を実行します。
 - a. 復旧ポイント サーバを選択します。
 - b. 非デデュプリケーションまたはデデュプリケーション データ ストアを選択します。
 指定された復旧ポイント サーバで作成されるデータ ストアをすべて示すリストが表示されます。
 - c. セッション パスワードを入力します。 バックアップ先が、暗号化されていない RPS データストアの場合、セッション パスワードはオプションです。
 - d. セッション パスワードを確認します。

デスティネーションが指定されます。

スケジュールの指定

[スケジュール]ページでは、特定の間隔で繰り返されるバックアップ、マージ、およ びスロットル機能のスケジュールを定義できます。スケジュールを定義した後、ジョ ブはスケジュールごとに自動的に実行されます。複数のスケジュールを追加し、保 存設定を提供できます。

[バックアップスケジュール]は、選択した時間または分数に基づいて一日に複数 回繰り返される通常のスケジュールを指します。標準スケジュールに加えて、バッ クアップスケジュールには、毎日、毎週、および毎月のスケジュールを追加するオ プションが用意されています。

注: スケジューリングと保存設定の詳細については、「<u>高度なスケジュールおよび</u> 保存」を参照してください。

以下の手順に従います。

バックアップスケジュール、マージスケジュール、およびスロットルスケジュールを追加します。

バックアップ スケジュールの追加

a. 追加]をクリックして [バックアップスケジュールの追加]を選択します。 新規のバックアップスケジュール]ダイアログボックスが開きます。

新規のバックアッフ	「スケジュール			
カスタム				-
バックアップの種類	增分	¥		
開始時刻	8:00	2		
	 ✓ 日曜日 ✓ 水曜日 ✓ 土曜日 	✓ 月曜日 ✓ 未曜日	✓ 火曜日✓ 金曜日	
緑り返し実行する	V			
	間隔 3	時間	-	
	終了 18:00		100	
ヘルプ			保存	キャンセル

b. 以下のオプションから1つを選択します。

カスタム

1日に複数回繰り返すバックアップスケジュールを指定します。

毎日

1日に1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。 海日]バックアップの場合、デフォルトでは、すべての曜日が選択されます。 特定の曜日にバックアップ ジョブを実行しない場合は、その曜日のチェックボックスをオフにします。

毎週

週1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。

毎月

月1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。 c. バックアップの種類を選択します。

フル

フル バックアップのバックアップ スケジュールを指定します。Arcserve UDP はスケジュールに従って、ソース マシンで使用されているすべての ブロックのフル バックアップを実行します。フル バックアップにかかる時間 は、通常、バックアップのサイズに左右されます。

増分

増分バックアップのバックアップスケジュールを指定します。

スケジュールされたとおりに、前回の成功したバックアップ後に変更さ れたブロックのみの増分 バックアップが Arcserve UDP によって実行され ます。増分 バックアップのメリットは、バックアップを高速で実行できるこ と、また作成されるバックアップ イメージのサイズが小さいことです。これ は、バックアップの実行に最も適した方法です。

- d. バックアップの開始時刻を指定します。
- e. (オプション) **繰り返し実行する**]チェックボックスをオンにして繰り返しスケ ジュールを指定します。
- f. 保存]をクリックします。

[バックアップスケジュール]が指定され、 [スケジュール]ページに表示されます。

	ソース	デスティネーション スケシ	"ユール	拡引	Æ					
6);etn	黒田谷								
	/ <u>11</u>	H W T								
	タイプ	說明	B	月	火	水	木	숲	±	時刻
	۲	週次増分バックアップ						~		22:00
	۲	カスタム 増分 バックアップ (3 時間 ごと)	~	~	×	~	×		~	8:00 - 18:00

マージ スケジュールの追加

- a. 追加]をクリックして マージスケジュールの追加]を選択します。 新しいマージスケジュールの追加]ダイアログ ボックスが開きます。
- b. マージ ジョブの開始時刻を指定します。
- c. **終了**]を指定して、マージジョブの終了時刻を指定します。
- d. **保存**]をクリックします。

[マージスケジュール]が指定され、 [スケジュール]ページに表示されます。

スロットルスケジュールの追加

- a. 追加]をクリックして スロットルスケジュールの追加]を選択します。 新しいスロットルスケジュールの追加]ダイアログボックスが開きます。
- b. 分単位のMBでスループット制限を指定します。
- c. バックアップスループットジョブの開始時刻を指定します。
- d. 終了]を指定して、スループットジョブの終了時刻を指定します。
- e. **保存**]をクリックします。

スロットルスケジュール]が指定され、 **スケジュール**]ページに表示されます。 2. スケジュール済みバックアップの開始時刻を指定します。

最初のバッケアップ (フル バックアップ)	2021/01/15	21 = : 00 =
復旧ポイントの保存	日次パックアップ	
	週次バックアップ	5
	月次バックアップ	
	カスタム/手動バックアップ	31

3. カスタム]、 毎日]、 毎週]、および 毎月]スケジュールに対して復旧ポイント 保存設定を指定します。

これらのオプションは、対応するバックアップスケジュールを追加している場合に有効になります。このページで保存設定を変更すると、変更が [バックアップスケジュール]ダイアログボックスに反映されます。

スケジュールが指定されます。

拡張設定の指定

肱張]タブでは、バックアップジョブの一部の拡張設定を指定できます。拡張設定には、スクリプトのロケーションの提供、電子メールの設定などが含まれます。

以下の図は 拡張]タブを示しています。

ソース デスティネーシ	raシースケジュール <u>拡張</u>
Exchange Online の保護タスクを実行	するには、バッウアップ前およびバックアップ後のスクリプトがプロキシサーバ上に存在する必要があります。
バックアップ開始前にコマンドを実行	
	■終了コード 0
バッウアップ完了後にコマンドを実行	
	□ ジョブが失敗した場合でもコマンドを実行
コマンド用ユーザ名	
コマンド用パスワード	
電子メール アラートの有効化	■ 電子メールの設定
ジョブ アラート	□ ショナを実行できない場合
	□ 復旧ポイントのバックアップ、レブリケーション、リストア、またはコピー ジョブが失敗/クラッシュ/キャンセルされました
	□ 復旧ポイントのバックアップ、レブリケーション、リストア、またはコピー ジョブが正常に完了しました
	□マージ ジョブが停止、スキップ、失敗、またはクラッシュした場合
	フージジョブが成功した場合

以下の手順に従います。

1. 以下の詳細を指定します。

バックアップ開始前にコマンドを実行する

バックアップジョブを開始する前にスクリプトを実行できます。プロキシノード内 のスクリプトの保存場所のパスを指定します。 **終了コード**]をクリックし、**ジョ** ブを続行]または ジョブを中止]の終了コードを指定します。 ジョブを続行] で指定すると、スクリプトが終了コードを返すときバックアップジョブが続行され ます。 ジョブを中止]で指定すると、スクリプトが終了コードを返すときバック アップジョブが停止します。

バックアップ完了後にコマンドを実行する

バックアップ ジョブが完了した後にスクリプトを実行できます。スクリプトの保存 場所の完全パスを指定します。

Run a command even when the job fails (ジョブが失敗した場合 でもコマンドを 実行する)

このチェックボックスを選択した場合は、バックアップジョブが失敗した場合で も、「**バックアップ完了後にコマンドを実行する**」で指定したスクリプトが実行さ れます。そうしない場合、バックアップジョブが正常に完了した場合にのみ、そ のスクリプトが実行されます。

コマンドのユーザ名

コマンドを実行するユーザ名を指定できます。

コマンド用パスワード

コマンドを実行するパスワードを指定できます。

電子メールアラートの有効化

電子メールアラートを有効にすることができます。電子メール設定を指定し、 電子メールで受信するアラートの種類を設定することができます。このオプショ ンを選択すると、以下のオプションを選択できるようになります。

電子メール設定

電子メール設定を指定できます。**電子メールの設定**]をクリックし、電子 メールサーバおよびプロキシサーバの詳細を設定します。電子メールの設 定方法の詳細については、「<u>電子メールとアラートの環境設定</u>」を参照し てください。

ジョブ アラート

受信するジョブアラート電子メールの種類を選択します。

2. 保存]をクリックします。

注: バックアップ ソースまたはバックアップ プロキシとしてノードを選択すると、 Arcserve UDP は、 プロキシノードにエージェント がインストールされているかどうか、 またそのエージェント が最新 バージョンかどうかを確認します。 その後、 Arcserve UDP は、 古いバージョンのエージェント がインストールされているすべてのノードまた はエージェント がインストールされていないすべてのノード のリストを示す確認 ダイア ログ ボックスを表示します。 エージェントをこれらのノードにインストールしたり、 エー ジェントをアップグレードしたりするには、 インストール方式を選択して **保存**]をク リックします。

変更が保存され、タスク名の隣に緑のチェックマークが表示されます。 プランページが閉じられます。

注:別のタスクを追加する必要がある場合、「リソース」タブからプランを選択し、 このプランを変更する必要があります。プランを変更するには、中央ペインでプラン をクリックします。プランが開き、それを変更できます。フォローアップタスクとして、 復旧ポイントのコピー」、「テープへのコピー」、「レプリケート」、および「リモート RPS からレプリケート」タスクを追加できます。

プランは、自動的にプロキシサーバノードに展開されます。

プロキシ サーバの SharePoint Online バックアップ プランが作成されます。バックアッ プは、 **スケジュール**]タブで設定したスケジュールに従って実行されます。また、手動バックアップはいつでも実行できます。

バックアップの検証

バックアップを検証するには、バックアップ プランが正常に作成されたことを確認します。 プランが正常に作成されたことを検証した後で、スケジュールどおりバックアップジョブが実行されているかどうかを確認します。 [obs]タブからバックアップ ジョブのステータスを検証できます。

プランを検証するには、以下の手順に従います。

- 1. [リソース]タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、[**ノード**]に移動し、「**すべてのノード**]をクリックします。 すべてのノードのリストが中央のペインに表示されます。
- 3. プランがノードと共にマップされていることを検証します。 バックアップ ジョブを検証するには、以下の手順に従います。
- 1. ジョブ]タブをクリックします。
- 左ペインから、「すべてのジョブ」をクリックします。
 各ジョブのステータスは中央のペインにリスト表示されます。
- バックアップ ジョブが正常に終了することを確認します。
 バックアップ ジョブが検証されます。

多要素認証の設定

組織 がユーザに対して MFA (多要素認証)を有効化している場合、office 365 バックアップ プランでは、バックアップ サービス アカウント 用のアプリパスワードを使用 する要設定する必要があります。

多要素認証をサポートするようにArcserve UDPを設定するには、以下の手順を 実行します。

- 1. アプリパスワードを設定するバックアップサービスアカウントの有効化
- 2. バックアップサービスアカウント用のアプリパスワードの作成

注:現在 MFA 認証(アプリパスワード)は、O365 Exchange Onlin および SharePoint Online バックアップでのみサポートされています。

アプリパスワードを設定するバックアップ サービス アカウントの有効化

設定するには、まずアプリパスワードを設定するバックアップサービス アカウントを 有効化します。

以下の手順に従います。

1. 管理者アカウントの認証情報を使用して Microsoft Office 365 にサインインし、 管理者アイコンをクリックします。

← → C	i office.com/?a	uth=2						
::: Offic	ce 365		8	Search				
	Good mor	rning						
	+	0	•	w	x	•	N	4
	Start new	Outlook	OneDrive	Word	Excel	PowerPoint	OneNote	SharePoint
	Admin	→ All apps						

2. [Microsoft 365 管理センター]画面から [ユーザー]> 「アクティブなユーザー]に移動します。



3. アクティブなユーザー]画面から、 多要素認証]オプションをクリックします。

重要: [...)]オプションが表示されない場合は、サブスクリプションのグローバル管理者でありません。

÷	← → C 🔒 admin.microsoft.com/AdminPortal/Home#/users					
	Microsoft 365 admin cente	er -				
=			Arcserve India Software Solutions Lin	nited		亲 Light mode
ŵ	Home		Active users			
8	Users	^				
1	Active users		0			
	Contacts		 Due to a recent increase in reams usa assign Teams policies to them, and th 	ige, when you assign a Team ey might not have access to	is license to a user it may take around 24 hours some Teams features like calling and audio con	ferencing. Check status
	Guest users					
	Deleted users		옷 Add a user 🗉 User templates	പ്പ് Add multiple users	A Multi-factor authentication	Search
e ^R	Groups	~				_
8	Billing	~	Display name 📫		Usemame	Licenses
P	Setup		and and a second se			Office 365 E3
0	Customize navigation					Office 365 E3
	Channe all					

[Azure Multi-Factor Authentication の設定] が表示されます。

手順4と5は一度だけ設定する必要があります。手順6にスキップしてください。

÷	← → C 🔒 account.activedirectory.windowsazure.com/UserManagement/MultifactorVerification.aspx?BrandContextID=0365								
m use	multi-factor authentication users service settings								
Note Befo	e only users licensed to use re you begin, take a look at	Microsoft Online Services are eligible for Multi-Factor Authent the multi-factor auth deployment guide.	ication. Learn more about how to licen	se other users.					
	bulk update								
Vi	ew: Sign-in allowed users	▼ 🎾 Multi-Factor Auth status: Any 🔻							
	DISPLAY NAME 🔺	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS						
			Disabled	Soloct a usor					
			Disabled	Select a user					
			Disabled						
			Disabled						

- 4. 多要素認証]画面で、 [サービス設定]をクリックします。
- 5. アプリパスワードから、「ブラウザではないアプリへのサインイン用にアプリパスワード の作成を許可する]チェックボックスをオンにします。



新しいパスワードの作成後、クライアント Office アプリを使用できます。

6. 保存]をクリックしてウィンドウを閉じます。

[ユーザー]画面に戻ります。

7. [ユーザー] 画面から、以下の手順を行います。

a. MFA を有効化するユーザのチェックボックスをオンにします。

÷	← → C 🗎 account.activedirectory.windowsazure.com/UserManagement/MultifactorVerification.aspx?BrandContextID=0365					
M use	multi-factor authentication users service settings Note: only users licensed to use Microsoft Online Services are eligible for Multi-Factor Authentication. Learn more about how to license other users.					
Seto Vir	bulk update w: Sign-in allowed users	A Multi-Factor auth deployment	Auth status: Any T			
	DISPLAY NAME	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS			
			Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled	quick steps Enable Manage user settings		
2			Disabled			

b. **有効にする**]をクリックします。

C account.activedirectory.windowsazure.com/UserManagement/Multifactor/Verification.aspx?BrandContextID=0365 multi-factor authentication users service settings wers license to use Microsoft Online Services are eligible for Multi-factor Authentication. Learn more about how to license other users. Bulk update Users Sign-in allowed users View: Sign-in allowed user View: Sign-in allowed user View: Sign-in allowed user View: Sign-in allowed user View: Sign-in allowed View: Sign-in allowed user View: Sign-								
multi-factor authentication users service settings Note: only users licensed to use Microsoft Online Services are eligible for Multi-factor Authentication. Learn more about how to license other users. Evide update View: Sign-in allowed users USER NAME Multi-Factor Auth status: Any Display NAME - USER NAME Multi-Factor Auth status: Any Gisabled Disabled Di	÷	← → C 🗎 account.activedirectory.windowsazure.com/UserManagement/MultifactorVerification.aspx?BrandContextID=0365						
bulk update View: bisplay name Display name <	USE Note Befor	multi-factor authentication users service settings Note: only users licensed to use Microsoft Online Services are eligible for Multi-Factor Authentication. Learn more about how to license other users.						
View: Sign-in allowed users DISPLAY NAME * USER NAME Disabled		bulk update						
DISPLAY NAME * USER NAME MULTI-FACTOR AUTH STATUS Image: Status Disabled	Vie	Sign-in allowed users	▼ 👂 Multi-Factor Auth status: Any ▼					
Disabled		DISPLAY NAME +	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS				
Disabled				Disabled				
Disabled				Disabled				
Disabled quick steps Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled				Disabled				
Disabled Manage user settings Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled				Disabled	quick steps			
Disabled Disabled Disabled Disabled Disabled				Disabled	Manage user settings			
Disabled Disabled Disabled				Disabled				
Disabled Disabled				Disabled				
Disabled				Disabled				
	۲			Disabled				

ダイアログ ボックスが表示されます。

c. ダイアログ ボックスから、 [Multi-Factor Auth を有効にする]をクリックします。





アプリパスワードを設定するバックアップサービスアカウントが有効化されました。

バックアップ サービス アカウント 用のアプリパスワードの 作成

アプリパスワードを設定するバックアップサービス アカウントを有効化した後、バック アッププランではバックアップサービス アカウント用のアプリパスワードを使用する必要があります。 バックアップサービス アカウントのアプリパスワードを作成する必要 があります。

以下の手順に従います。

- 1. 職場または学校アカウントとパスワードで Office 365 (https://myprofile.microsoft.com/) にサインインします。
- 2. 追加のセキュリティ確認]をクリックします。

← → C 🔒 myprofile.n	icrosoft.com	
${\it iii}$ My Account \sim		
A Overview		
🔗 Security info		
Devices		Security info
🔍 Password	Sciences Toukutche	81
🖻 Organizations	M	
A Privacy		Keep your ventication methods and security info up to date.
₿ My sign-ins (preview)	¢.	SET UP SELF-SERVICE PASSWORD RESET
- Office apps		ADDITIONAL SECURITY VERIFICATION >
Subscriptions	Why can't Ledit? ①	

追加のセキュリティ確認」画面が表示されます。

← → C account.activedirectory.windowsazure.com/proofup.aspx
Additional security verification App Passwords
When you sign in with your password, you are also required to respond from a registered device. This makes it harder for a hacker to sign in with just a stolen password. View video to know how to secure your account
What's your preferred option? We'll use this verification option by default. Text code to my authentication p v
how would you like to respond?
Set up one or more of these options. Learn more Authentication phone India (~91)
Authenticator app or Token Set up Authenticator app
Save cancel

Your phone numbers will only be used for account security. Standard telephone and SMS charges will apply.

- 3. 追加のセキュリティ確認]画面で以下の手順を実行します。
 - a. 認証方法を選択し、ページの指示に従います。

たとえば、電話認証を選択した場合、国を選択して電話番号を入力する必要があります。確認コードを取得する方法を選択することもできます。

← → C 🔒 account.a	ctivedirectory.windov	vsazure.com/pr	roofup.aspx		
Additional secur	ity verificatio	on App	Passwords		
When you sign in with your password, View video to know how to secure yo	, you are also required to n ur account	espond from a regi	stered device. This makes it h	harder for a hacker to sign in with just a stolen password.	
what's your preferred optio We'll use this verification option by de	n? Hault.				
Text code to my authentication $\wp \mathbf v$					
how would you like to resp	ond?				
Set up one or more of these options.	Learn more				
Authentication phone	India (+91)	~			
Authenticator app or Token	Set up Authenti	cator app			
cancel					
Your phone numbers will only be used	l for account security. Stan	dard telephone and	d SMS charges will apply.		
アプリパスワード]を	クリックします。				

b.

アプリパスワード]画面が表示されます。				
÷	\rightarrow	C	-	account.activedirectory.windowsazure.com/AppPasswords.aspx
		- /		

additional security verification app passwords

To sign into Outlook, Lync or other apps installed on your computer or smart phone, you'll need to create an app password. When prompted by the app, enter the app password instead of your work or school account password.

You can use the same app password with multiple apps or create a new app password for each app. How do I get my apps working with app passwords?

Note: If you are an admin of a Microsoft service, we recommend not using app passwords.

Bookmark this page

c. 作成]をクリックします。 [アプリパスワードの作成]画面が表示されます。

64 Arcserve UDP Cloud Hybrid ユーザガイド

(i)	
Create app password	
Enter a name to help you remember where you use this password.	
Name: Office365	
	next Cancel

d. 「アプリパスワードの作成]画面で、名前を入力し、 (次へ)をクリックします。

Outlook、Apple メール、およびその他の電子メールオプションで使用できるア プリパスワードが表示されます。

(i)			
Your app password			
Name: Office365			
Password:			
Note: This password will not be d	splayed again.		
Note: This password will not be d	splayed again. bard		
Note: This password will not be d	splayed again. Dard		

e. **[パスワードをクリップボードにコピーする**]オプションを選択すると、パスワード がクリップボードにコピーされます。

← → C account.activedirectory.windowsazure.com/AppPasswords.aspx				
additional see	urity verification app passwords			
To sign into Outlook, Lync or o password instead of your work	her apps installed on your computer or smart phone, you'll need to create an app password. When prompted by the app, enter the app or school account password.			
You can use the same app pas	word with multiple apps or create a new app password for each app. How do I get my apps working with app passwords?			
Note: If you are an admin of a	vlicrosoft service, we recommend not using app passwords.			
Bookmark this page				
create				
NAME	DATE CREATED			
Office365	6/S/2020 Delete			

バックアップ サービス アカウント 用のアプリパスワードが作成されました。

Microsoft Office 365 OneDrive バックアップ プランを作 成する方法

Microsoft Office 365 クラウド サービスの一 部 である OneDrive を使用 すると、クラウ ド ストレージおよびファイルの共有 が容易になります。Microsoft クラウド から Onedrive アイテム(ファイル、フォルダなど)を保護 するには、プランを作成 する必要 があります。OneDrive 用のプランは、バックアップ タスクで構成 されます。このバック アップ タスクでは、保護 する OneDrive ノード、バックアップ先 およびバックアップ スケ ジュールを指定 できます。

この後の手順

- 1. <u>前提条件と考慮事項の確認</u>
- 2. OneDrive バックアップ プランの作成
- 3. (オプション) 手動 バックアップの実行
- 4. <u>バックアップの検証</u>

前提条件と考慮事項の確認

前提条件:

- コンソールサーバは Microsoft Azure に接続している必要があります。
- O365 テナントで先進認証が設定されていて、それをサポートするために
 Arcserve UDP が最近アップグレードされた場合、先進認証関連の設定を

使用して既存のExchange Online ジョブを再設定する必要があります。これについては、「先進認証」で説明されています。

OneDrive バックアップ プランの作成

バックアップ プランには、OneDrive データ項目(ファイルやフォルダなど)のバックアッ プを実行し、非デデュプリケーション データストアまたはデデュプリケーション データス トアのいずれかにデータを保存するバックアップ タスクが含まれています。タスクはそ れぞれ、ソース、デスティネーション、スケジュール、および他のバックアップ詳細を定 義するパラメータから構成されます。

以下の手順に従います。

- 1. コンソールの [リソース]タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、 プラン]に移動し、 すべてのプラン]をクリックします。 プランを以前に作成している場合、それらのプランが中央ペインに表示されます。
- 3. 中央のペインで **プランの追加**]をクリックします。

プランの追加]ダイアログボックスが開きます。

- 4. プラン名を入力します。
- 5. (オプション) にのプランを一時停止]チェックボックスを選択します。

チェックボックスをオフにしてプランを再開するまで、プランは実行されません。

注: プランが一時停止された場合、進行中のジョブは一時停止されませんが、 そのプランと関連付けられたすべての対応するスケジュール済みジョブが一時停 止されます。ただし、ジョブを手動で実行することができます。たとえば、それぞれ のプランが一時停止されている場合でも、バックアップジョブとレプリケーションジョ ブを手動で実行できます。このような場合、オンデマンド(手動)ジョブに対する以 下のタスクは実行されません。たとえば、オンデマンドのバックアップジョブの後にレ プリケーションタスクがある場合、そのレプリケーションジョブはオンデマンドのバック アップジョブに対して実行されません。手動でレプリケーションジョブを実行する必 要があります。プランを再開しても、保留中のジョブがすぐに再開されることはあり ません。プランの再開後、次にスケジュールされている時刻から保留中のジョブが 実行されます。

6. **タスクの種 類**]ドロップダウン リストで、 **[バックアップ: Office 365 の OneDrive**]を 選択します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加	ローカル サイト-業	所規のプラン	□このプランを一時停止
タスク1: バックアップ: Office 365 OneDrive	タスクの種類	バックアップ: Office 365 Or	neDrive 🗸
● タスクの追加	<u> </u>	デスティネーション	スケジュール 拡張
製品のインストール	び 注:OneDri	veノードを追加する前に、バッ	ックアップ ブロキシを追加するか既存のプロキシ
	バックアップ	プロキシ	-
	€追加	削除	
	OneDrive	· Y-Z	ፖክንጋት

[<u>ソース</u>]、「<u>デスティネーション</u>]、「<u>スケジュール</u>]、および <u>肱張</u>]の詳細を指定します。

ソースの指定

[ソース]ページでは、保護する OneDrive ソースノードを指定 できます。プランには 複数の OneDrive ソースノードを選択 できます。まだノードをコンソールに追加して いない場合、[ソース]ページから OneDrive ソースノードを追加 できます。

注. どんなソースノードも追加せずにプランを保存できますが、プランはノードを追加しないかぎり配備されません。

以下の手順に従います。

1. [ソース]タブをクリックします。

- ダッシュボード **リソース** ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加	ローカル サイトー新規のプラン	□ このプランを一時停止
タスク1: バックアップ: Office 365 OneDrive	タスクの種類 バックアップ: Office 365 OneDrive	e 🗸
● タスクの追加	<u>ソース</u> デスティネーションスケ	ジュール 拡張
製品のインストール	」	ク プロキシを追加するか既存のプロキシ
	バックアップ プロキシ win-updjg1rhr91	~
	●追加 削除	7.
	Arcserve UDP で保護するソースの選択	ፖክንጋት
	OneDrive ソースの追加	

- 2. ドロップダウン リストから **[バックアップ プロキシ**]を選択します。
- 3. 以下のいずれかの方法を使用して OneDrive ノードを追加します。

方法 1

a. 追加]をクリックし、次に Arcserve UDP で保護するソースの選択]をクリックします。

[プランにノードを追加]ダイアログボックスが表示されます。

注: 検索]で、保護する OneDrive ノードを検索 することもできます。

c. **すべての OneDrive アカウントを保護する**] チェック ボックスをオンにし、すべ てのページですべての OneDrive アカウントを保護します。 いくつかのアカウン トを選択するには、 チェック ボックスの右 にある矢 印をクリックし、 アカウントを 指定します。

選択した OneDrive アカウントが追加されます。

方法 2

a. Arcserve UDP で、 追加]をクリックし、次に [OneDrive ソースの追加]をクリックします。

注:その他のノードとは異なり、「すべてのノード」ページから OneDrive ノード を追加することはできません。プラン内にのみ、またはプランを編集する場合 のみ OneDrive ノードを追加することができます。

b. OneDrive ノードをプランごとに追加するには、ノード名、ユーザ名、パスワードを指定します。OneDrive ノードの作成後にノード名を変更することはできません。 複数の OneDrive ノードで OneDrive の同一のユーザアカウントを使用できます。

注: Azure Active Directory 管理者のユーザアカウントを選択することをお勧めします。

4. [ノードの追加]をクリックした後、基本認証または先進認証を選択して、プラン ごとに Exchange ノードを追加できます。

基本認証の場合、以下の情報を入力します。

- ノード名
- サイト コレクション URL
- ユーザ名
- パスワード

先進認証の場合、以下の情報を入力します。

- ノード名
- サイト コレクション URL
- アプリケーション ID
- ユーザ名

注:ノードの作成後に Exchange Online ノード名を変更することはできません。

プランにノードを追加	ο×
OneDrive ソースの追加	
【 保護するすべてのメールボックスでパックアップ アカウントが Discovery Management および ApplicationImpersonation 役割グループのメンバであることを確認します。 詳種については、「ソリューション ガイド」を参照してください。	
OneDrive ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。	
モダン認証 セキュリティ証明書を使用してパックアップを作成します。	
〇 基本認証 ユーザ名とパスワードを使用してバックアップを作成します。	
ヘルプ 次へ キャン	セル

a. セキュリティ証明書を使用して UDP アプリケーションを認証するには、「<u>セ</u> <u>キュリティ証明書の使用方法</u>」を参照してください。

አ ምንታ ድ
注: [既存の証明書の使用] UIオプションを使用して、CA (Certifying Authority) により発行されたサードパーティセキュリティ証明書により、す に前提条件を展開している場合は、この手順を省略してください。
すべての Office 365 バックアップ用に Azure で前提条件を設定するには ここをクリックします
前に戻る 次へ

5. Azure ポータルに証明書をアップロードした後、UDP コンソールにはノード名、アプリ ケーション ID、ユーザ名が表示されます。AzureAD 管理者に同意するには、チェッ クボックスを選択し、 **接続**]をクリックしてノードを登録します。
| プランにノードを追加 | | o × |
|---|--|-------------------------|
| OneDrive ソースの追加 | | |
| 🚺 OneDrive ノードの追加後に、ノー | ド名を変更することはできません。 | |
| ノード名 | | |
| アプリケーション ID | | |
| ユーザ名 | | |
| | usemam <i>e</i> @domain | |
| | | |
| | | |
| | | |
| Arcserve UDP では AzureAd アプリが設定
が AzureAd アプリに追加され、管理者の同
してから、次に進んでください。 | されるため、Exchange Online、SharePoint Online および OneDrive に対して適切に機能します。一
意がそれらの権限に付与されて、ApplicationImpersonation 役割が AzureAd アプルに割り当てられま | ·部の API 権限
『す。 同意を確認 |
| | | |
| | | |
| | 前に戻る | 接続 キャンセル |

Office 365 テナントで基本認証が設定されている場合は、以下を実行します。

a. 基本認証]オプションを選択し、ノード名、ユーザ名、パスワードを入力し ます。

Arcserve UDP URL がブラウザで開かれ、OneDrive ポータルからすべての Arcserve UDP のデータの読み取り/書き込みに関する権限をリクエストします。

b. ブラウザで、Microsoft Azure 管理者の認証情報を使用してサインインしま す。

Azure ポータルが開きます。

- c. Microsoft Azure ポータルから、以下の手順を実行して UDP アプリを設定します。
 - i. [API のアクセス許 可]をクリックします。
 - ii. 右側のペインで、アクセス許可の付与]ボタンをクリックします。
 - iii. 『はい]をクリックして、アクセス許可の付与に同意します。
 - iv. アクセス許可を付与した後、Arcserve UDP で、 プランの追加]- プラ ンにノードを追加]に移動し、 次へ]ボタンをクリックします。

注: アクセス許可 URL を閉じた後で再度開くには、UDP の プランにノード を追加]画面の[こ]ボタンをクリックします。

Arcserve UDP によって、現在のテナントのすべてのアカウントが一覧表示されます。

6. 保護する OneDrive アカウントを選択し、右向き矢印(>)をクリックして保護されて いるリストに移動します。

注: 「すべての OneDrive アカウントを保護する] チェック ボックスをオンにし、すべてのページですべての OneDrive アカウントを保護します。

7. 保存]をクリックします。

選択した OneDrive アカウントが追加されます。

デスティネーションの指定

送信先はバックアップデータを保存する場所です。少なくともプランを保存するためのデスティネーションを指定する必要があります。

以下の手順に従います。

1. 「デスティネーション」タブをクリックします。

[Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ]オプションが自動的に選択されます。 [Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ]はバックアップ先が復旧ポイントサーバであ ることを指定します。このオプションを選択すると、データは復旧ポイントとして保存 されます。データを復旧セットとして保存できません。

- 2. 以下の詳細を指定します。
 - a. 復旧ポイント サーバを選択します。
 - b. 非デデュプリケーションまたはデデュプリケーション データ ストアを選択します。
 指定された復旧ポイント サーバで作成されるデータ ストアをすべて示すリストが表示されます。
 - c. セッション パスワードを入力します。 バックアップ先が、暗号化されていない RPS データ ストアの場合、 セッション パスワード はオプションです。
 - d. セッション パスワードを確認します。

デスティネーションが指定されます。ここで、 <u>スケジュール</u>]および <u>肱張</u>]の詳細を 指定します。

スケジュールの指定

[スケジュール]ページでは、特定の間隔で繰り返されるバックアップ、マージ、およ びスロットル機能のスケジュールを定義できます。スケジュールを定義した後、ジョ ブはスケジュールごとに自動的に実行されます。複数のスケジュールを追加し、保 存設定を提供できます。

[バックアップスケジュール]は、選択した時間または分数に基づいてー日に複数 回繰り返される通常のスケジュールを指します。標準スケジュールに加えて、バッ クアップスケジュールには、毎日、毎週、および毎月のスケジュールを追加するオ プションが用意されています。

注: スケジューリングと保存設定の詳細については、「<u>高度なスケジュールおよび</u> 保存」を参照してください。

以下の手順に従います。

バックアップスケジュール、マージスケジュール、およびスロットルスケジュールを追加します。

バックアップ スケジュールの追加

a. 追加]をクリックして [**バックアップ スケジュールの追加**]を選択します。 新規のバックアップ スケジュール]ダイアログ ボックスが開きます。

新規のバックアッフ	「スケジュール			1
カスタム				-
バックアップの種類	增分	-		
開始時刻	8:00	22		
	 ✓ 日曜日 ✓ 水曜日 ✓ 土曜日 	 ✓ 月曜日 ✓ 木曜日 	 ✓ 火曜日 ✓ 金曜日 	
緑り返し実行する	Z			
	間隔 3	時間	Ŧ	
	終了 18:0	0	2	
ヘルプ			保存	キャンセル

b. 以下のオプションから1つを選択します。

カスタム

1日に複数回繰り返すバックアップスケジュールを指定します。

毎日

1日に1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。 海日]バックアップの場合、デフォルトでは、すべての曜日が選択されます。 特定の曜日にバックアップ ジョブを実行しない場合は、その曜日のチェックボックスをオフにします。

毎週

週1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。

毎月

月1回実行されるバックアップスケジュールを指定します。

c. バックアップの種類を選択します。

フル

フル バックアップのバックアップ スケジュールを指定します。Arcserve UDP はスケジュールに従って、ソース マシンで使用されているすべての ブロックのフル バックアップを実行します。フル バックアップにかかる時間 は、通常、バックアップのサイズに左右されます。

増分

増分バックアップのバックアップスケジュールを指定します。

スケジュールされたとおりに、前回の成功したバックアップ後に変更さ れたブロックのみの増分バックアップが Arcserve UDP によって実行され ます。増分バックアップのメリットは、バックアップを高速で実行できるこ と、また作成されるバックアップイメージのサイズが小さいことです。この オプションは、バックアップの実行に最も適した方法です。

- d. バックアップの開始時刻を指定します。
- e. (オプション) **繰り返し実行する**]チェックボックスをオンにして繰り返しスケ ジュールを指定します。
- f. **保存**]をクリックします。

[バックアップスケジュール]が指定され、 [スケジュール]ページに表示されます。

ソース デスティネーション **スケジュール** 拡張

④追加 首都会

タイプ	說明	B	я	火	水	*	숲	±	時刻
۲	週次増分パックアップ						~		22:00
۲	カスタム 増分 バックアップ (3 時間 ごと)	<	~	~	~	~	~	<	8:00 - 18:00

マージ スケジュールの追加

- a. 追加]をクリックして マージ スケジュールの追加]を選択します。 新しいマージ スケジュールの追加]ダイアログ ボックスが開きます。
- b. マージジョブを開始する開始時刻を指定します。
- c. 終了]を指定して、マージジョブの終了時刻を指定します。
- d. **保存**]をクリックします。

マージ スケジュール]が指定され、 **スケジュール**]ページに表示されます。 スロットルスケジュールの追加

- a. 追加]をクリックして スロットルスケジュールの追加]を選択します。 新しいスロットルスケジュールの追加]ダイアログ ボックスが開きます。
- b. 分単位のMBでスループット制限を指定します。
- c. バックアップスループット ジョブを開始する開始時刻を指定します。

- d. **終了**]を指定して、スループットジョブの終了時刻を指定します。
- e. **保存**]をクリックします。

[スロットルスケジュール]が指定され、 [スケジュール]ページに表示されます。

2. スケジュール済みバックアップの開始時刻を指定します。

最初のバックアップ (フル バックアップ)	2021/01/15	2 2 2	21	Ŧ	: [00	Ŧ
復旧ポイントの保存	日次バックアップ						
	週次バックアップ			5			
	月次バックアップ						
	カスタム/手動バックアップ			31			

3. カスタム]、 毎 日]、 毎 週]、および 毎 月]スケジュールに対して復 旧 ポイント 保存 設 定 を指 定 します。

これらのオプションは、対応するバックアップスケジュールを追加している場合に有効になります。このページで保存設定を変更すると、変更が [バックアップスケジュール]ダイアログボックスに反映されます。

スケジュールが指定されます。ここで、 肱張]の詳細を指定します。

拡張設定の指定

肱張]タブでは、バックアップジョブの一部の拡張設定を指定できます。拡張設定には、スクリプトのロケーションの提供、電子メールの設定などが含まれます。

以下の図は 拡張]タブを示しています。

ソース デスティネーショ	ン スケジュール 拡張
Exchange Online の保護タスクを実行する	るには、バックアップ前およびバックアップ後のスクリプトがプロキシ サーバ上に存在する必要があります。
バッウアップ開始前にコマンドを実行	
	■ 終了コード 0 ● ジョブを統行 ◎ ジョブを中止
バックアップ完了後にコマンドを実行	
	□ ジョブが失敗した場合でもコマンドを実行
コマンド用ユーザ名	
コマンド用パスワード	
電子メール アラートの有効化	■ 電子メールの設定
ジョブ アラート	□ ショナを実行できない場合
	□ 復旧ポイントのバックアップ、レブリケーション、リストア、またはコピー ジョブが失敗/クラッシュ/キャンセルされました
	□ 復旧ポイントのバックアップ、レブリケーション、リストア、またはコピー ジョブが正常に完了しました
	□ マージ ジョブが停止、スキップ、失敗、またはクラッシュした場合
	□マージ ジョブが成功した場合

以下の手順に従います。

1. 以下の詳細を指定します。

バックアップ開始前にコマンドを実行する

バックアップジョブを開始する前にスクリプトを実行できます。プロキシノード内 のスクリプトの保存場所のパスを指定します。 **終了コード**]をクリックし、**ジョ** ブを続行]または ジョブを中止]の終了コードを指定します。 ジョブを続行] で指定すると、スクリプトが終了コードを返すときバックアップジョブが続行され ます。 ジョブを中止]で指定すると、スクリプトが終了コードを返すときバック アップジョブが停止します。

バックアップ完了後にコマンドを実行する

バックアップ ジョブが完了した後にスクリプトを実行できます。スクリプトの保存 場所の完全パスを指定します。

Run a command even when the job fails (ジョブが失敗した場合 でもコマンドを 実行する)

このチェックボックスを選択した場合は、バックアップジョブが失敗した場合で も、「**バックアップ完了後にコマンドを実行する**」で指定したスクリプトが実行さ れます。そうしない場合、バックアップジョブが正常に完了した場合にのみ、そ のスクリプトが実行されます。

コマンドのユーザ名

コマンドを実行するユーザ名を指定できます。

コマンド用パスワード

コマンドを実行するパスワードを指定できます。

電子メールアラートの有効化

電子メールアラートを有効にすることができます。電子メール設定を指定し、 電子メールで受信するアラートの種類を設定することができます。このオプショ ンを選択すると、以下のオプションを選択できるようになります。

電子メール設定

電子メール設定を指定できます。**電子メールの設定**]をクリックし、電子 メールサーバおよびプロキシサーバの詳細を設定します。電子メールの設 定方法の詳細については、「<u>電子メールとアラートの環境設定</u>」を参照し てください。

ジョブ アラート

受信するジョブアラート電子メールの種類を選択します。

2. 保存]をクリックします。

注: バックアップ ソースまたはバックアップ プロキシとしてノードを選択 すると、 Arcserve UDP は、プロキシノードにエージェント がインストールされているかどうか、 またそのエージェントが最新バージョンかどうかを確認します。その後、Arcserve UDP は、古いバージョンのエージェントがインストールされているすべてのノードまた はエージェントがインストールされていないすべてのノードのリストを示す確認ダイア ログボックスを表示します。エージェントをこれらのノードにインストールしたり、エー ジェントをアップグレードしたりするには、インストール方式を選択して **保存**]をク リックします。

変更が保存され、タスク名の隣に緑のチェックマークが表示されます。 プランページが閉じられます。

注:別のタスクを追加する必要がある場合、「リソース」タブからプランを選択し、 このプランを変更する必要があります。 プランを変更するには、中央ペインでプラン をクリックします。 プランが開き、それを変更できます。 フォローアップ タスクとして、

腹旧ポイントのコピー]、 テープへのコピー]、 レプリケート]、および リモート RPS からレプリケート]タスクを追加できます。

プランは、自動的にプロキシサーバノードに展開されます。

プロキシ サーバの Exchange Online バックアップ プランが作 成されます。バックアップ は、 **スケジュール**]タブで設 定したスケジュールに従って実 行されます。また、<u>手</u> 動バックアップはいつでも実 行できます。

(オプション)手動バックアップの実行

通常、バックアップは自動的に実行され、スケジュール設定によって制御されま す。スケジュールされたバックアップの他、手動バックアップには、必要に応じてノー ドをバックアップするオプションがあります。たとえば、フルおよび増分バックアップを繰 り返し実行するスケジュールが設定されている状況でマシンに大幅な変更を加え る場合、次にスケジュールされたバックアップを待つのではなく、すぐに手動バック アップを実行する必要があります。コンソールおよびプロキシューザインターフェース の両方から、バックアップジョブをサブミットできます。ジョブモニタを使用して、ジョ ブステータスを表示したり、進行中のジョブをキャンセルしたりします。

OneDrive ノードの手動バックアップを実行する以下の手順に従います。

- 1. コンソールから [Jソース] タブをクリックします。
- 左ペインから、 [ノード]に移動し、 「すべてのノード]をクリックします。
 OneDrive ノードが中央のペインに表示されます。
- 3. バックアップの対象で、プランが割り当てられている OneDrive ノードを選択します。
- 中央のペインで、アクション]、今すぐバックアップ]の順にクリックします。
 今すぐバックアップを実行]ダイアログボックスが開きます。
- 5. バックアップの種類を選択し、必要に応じて、バックアップジョブの名前を指定します。

6. **[DK**]をクリックします。

バックアップジョブが実行されます。

OneDrive プランの手動バックアップを実行する以下の手順に従います。

- 1. コンソールから [リソース]タブをクリックします。
- 2. 左ペインから、 **プラン**]に移動し、 **すべてのプラン**]をクリックします。 OneDrive バックアップ プランが中央のペインに表示されます。
- 3. バックアップの対象で、プランが割り当てられているプランを選択します。
- 中央のペインで、アクション]、 今すぐバックアップ]の順にクリックします。
 今すぐバックアップを実行]ダイアログボックスが開きます。
- 5. バックアップの種類を選択し、必要に応じて、バックアップジョブの名前を指定します。
- 6. **[DK**]をクリックします。

バックアップ ジョブが実行されます。

手動バックアップが正常に実行されます。これで、バックアップを確認できます。

バックアップの検証

バックアップを検証するには、バックアップ プランが正常に作成されたことを確認します。 プランが正常に作成されたことを検証した後で、スケジュールどおりバックアップ ジョブが実行されているかどうかを確認します。 [obs]タブからバックアップ ジョブのステータスを検証できます。

プランを検証するには、以下の手順に従います。

- 1. [リソース]タブをクリックします。
- 左ペインから、 [ノード]に移動し、 「すべてのノード]をクリックします。
 すべてのノードのリストが中央のペインに表示されます。
- 3. プランがノードと共にマップされていることを検証します。 バックアップ ジョブを検証するには、以下の手順に従います。
- 1. ジョブ]タブをクリックします。
- 左ペインから、「すべてのジョブ」をクリックします。
 各ジョブのステータスは中央のペインにリスト表示されます。
- バックアップ ジョブが正常に終了することを確認します。
 バックアップ ジョブが検証されます。

保護データのリストア

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Exchange Online のメールボックス データをリストアする 方法

任意のコンピュータを使用して Microsoft クラウドから Exchange Online のメールボックス データ(電子メール、予定表、連絡先、メモ、タスクなど)をリストアできます。 復旧ポイントから元の場所または別の場所にデータをリストアできます。

Exchange Online のメールボックス データをリストアするには、以下 のタスクを行います。

- 1. <u>リストアする Exchange Online メールボックスの項目の選択</u>
- 2. リストアオプションの定義
- 3. 回復可能なアイテムのリストア
- 4. <u>復旧ポイント コンテンツのリストア</u>
- 5. コンテンツのリストアの確認

リストアする Exchange Online メールアイテムの選択

復旧ポイントから Exchange Online メール データをリストアできます。復旧する日付 を選択して時間を指定すると、その期間に関連付けられた復旧ポイントがすべて 表示されます。その後、リストアするバックアップコンテンツ(アプリケーションを含む) を参照して選択することができます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP にログインします。
- 2. [リソース]タブをクリックします。
- 3. 左ペインの **すべてのノード**]を選択します。

追加されたすべてのノードが中央のペインに表示されます。

- 4. 中央のペインで Exchange Online ノードを選択し、アクション]をクリックします。
- 5. **アクション**]ドロップダウンメニューの **リストア**]をクリックします。

Exchange 項目のリストア」ダイアログボックスが表示されます。

注: ユーザはエージェント ノードに自動的にログインされ、 Exchange 項目のリストア]ダイアログ ボックスが開きます。

[バックアップ場所]で復旧ポイントサーバの詳細を参照できます。

ሀストア					×
🚧 Exchange 項目のリスト バッケアップ場所	- 7				^
復旧ポイントサーバ: データ ストア: ノード: 復旧考心本の日付	<recovery point="" se<br=""><data store=""> <node name=""></node></data></recovery>	envers		変更	1
▼ 10月 2016 ▼ 下	時刻	スケジュー ルタイプ	バックアップの 種類	名前	
日月火水水 木金土 25 26 27 28 23 30 1 2 3 4 5 6 7 8 3 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 今日 16:00 - 12:00 - - - 18:00 - 0:00 - - -	0:34:51	カスタム/手 動	フル	カスタマイズされたフル バックアップ	
					~
			次へ =	やンセル ヘルプ	

6. (オプション) バックアップ場所を変更する場合は、 変更]をクリックします。

[ソース]ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでバックアップ 場所を選択できます。

ソース	1.21			×
○ ローカルデ ● 復旧ボイン	「ィスクまたは共有フォルダの選択 トサーバ を選択			
御태心村	サーバ設定			×
+71.0.		ノード	ユーザ名	デステ
小人下石:	XXX.XXX.XXX.XXX	10.58.174.239		•
ユーザ名:	Administrator	w10jvc1		~
		w2019jvc5@10.58.174.250		
パスワード:		w2019jvc7		
ボート:	8014			~
プロトコル:	○ HTTP	<		>
データスト ア	DS1 - 更新	4 4 ≪−3 [[] 1] > >		1-8/8の表示
			ок	キャンセル

7. ソースを指定するには、以下のいずれかのオプションを選択し、 [OK]をクリックしま す。

ローカルディスクまたは共有フォルダの選択

注: Arcserve UDP では、 **口一カル ディスクまたは共有 フォルダの選択**]オプションの選択は推奨されません。

復旧ポイント サーバの選択

- a. 復旧ポイント サーバ設定の詳細を指定し、 **更新**]をクリックします。 すべてのエージェントが **シース**]ダイアログ ボックスの データ保護 エージェン ト]列 にリスト表示されます。
- b. 表示されたリストからエージェントを選択し、 DK]をクリックします。 復旧ポイントが [Exchange 項目のリストア]ダイアログボックスにリスト表示されます。

注: 復旧ポイント フォルダから、Exchange Online ノードと同じ名前を持つ多 くのフォルダを参照できます。これは、ノードを削除し、テスト プランに再度 追加した場合に、ノード GUID が変更され、新しい復旧ポイント フォルダが 作成されるために発生します。

8. カレンダで、リストアするバックアップイメージの日付を選択し、 次へ]をクリックしま す。

指定したバックアップソースの復旧ポイントを含む日付はすべて、緑で強調表示されます。

その日付に対応する復旧ポイントが、バックアップの時刻、実行されたバックアップの種類(フル、増分、検証)、およびバックアップの名前と共に表示されます。

 ジールボックス]ペインで、リストアするメールボックスをクリックします。たとえば、 アーカイブ]をクリックします。



そのメールボックスに関連するすべてのメールアイテムが **フォルダ**]ペインに表示されます。

10. **フォルダ**]からリストアする関連メールアイテムまたはフォルダ(メールボックス全体、 電子メール、予定表、連絡先、メモ、タスクなど)を選択し、 **次へ**]をクリックしま す。

注:

- ◆ リストアする Exchange オブジェクトの全コンテンツまたは一部のコンテンツを選択できます。一部のコンテンツを選択するには、オブジェクトを展開し、そのコンテンツのチェックボックスをクリックします。
- ◆ 複数のExchange オブジェクトを選択できます。

[Jストアオプション]ダイアログボックスが表示されます。

リストアする Exchange Online メールアイテムが選択されます。これで、<u>リストアオプ</u> ションを定義することができます。

リストアオプションの定義

リストアする Exchange Online 情報を指定したら、選択したファイルまたはフォルダ 用にリストアオプションを定義します。

以下の手順に従います。

1. [Jストアオプション]ダイアログボックスで、リストア先を選択します。

リストア				×
▋ IJストアオフション テスティネーション				
リストア先	元の場所にリストアする	-		
項目がデスティネーションに存在する場合	項目をスキップし、リストアしない	-		
認証	既存の認証	-		
ユーザ名	既存の認証 新規の認証			
パスワード				
パスワード	•			
パスワード	•			
	前に戻る	次へ	キャンセル	~1r2,

使用可能なデスティネーションオプションは、以下のとおりです。

元の場所にリストアする

バックアップした場所から同じ場所にメールデータをリストアします。

注:

- ◆ 上書きオプションを使用して元の場所にメールアイテムを2回リストアする 場合、2回目のリストア後に、最初にリストアしたメールアイテムは上書きさ れません。その結果、2つの類似のメールアイテムが元の場所に表示され ます。
- ◆ スキップオプションを使用して元の場所にメールアイテムをリストアする場合、元のフォルダにはリストアするアイテムと類似したアイテムがすでに存在するため、バックアップジョブは不完全な結果を表示します。

別の場所にリストアする

別のメールボックスまたは音のメールボックスの別のフォルダに、メール データをリ ストアします。このオプションを選択すると、デスティネーションの参照と選択が 可能です。

2. 頃目がデスティネーションに存在する場合]ドロップダウンから、以下のオプション のいずれかを指定します。

項目をスキップし、リストアしない

項目をスキップし、リストアしません。

デフォルト:項目をスキップし、リストアしない。

デスティネーションの項目を上書きする

デスティネーションの項目を上書きします。

注: 『Jストア ディスティネーション] ドロップダウン リストから 元の場所にリスト ア]オプションを選択した場合に、 頃目がデスティネーションに存在する場 合] ドロップダウン リストが利用できます。

認証

ユーザ アカウントを検証および識別します。以下のオプションから1つを選択します。

■既存の認証

既存の認証]を選択すると、ノードの作成時に選択した認証タイプが使用されます。

- ◆ ノード認証が基本認証の場合、ユーザ名、パスワード、バックアップ 暗号化、保護パスワード(暗号化されている場合)などのパラメータ が自動的にロードされ、リストアが続行されます。
- ◆ ノード認証が先進認証の場合、ユーザ名、バックアップ暗号化、保護パスワード(暗号化されている場合)などのパラメータが自動的に ロードされ、リストアが続行されます。

新しい認証

リストア中に、以下のいずれかを選択して認証タイプを変更できます。

◆ 先進認証

◆ 基本認証

リストア		×					
■ リストア オプション デスティネーション							
リストア先	元の場所にリストアする	v					
項目がデスティネーションに存在する場合	項目をスキップし、リストアしない	Ψ					
認証	新規の認証	Ŧ					
 モダン認証 セキュリティ証明書を使用してリストアし キュ 基本認証 ユーザ名とパスワードを使用してリストア します バックアップの略号化または保護パスワード 							
パスワード	••						
	伯一要又	MA CELSONI AND					
	前に戻る	次へ キャンセル ヘルプ					

- 3. 認証を適用するには、以下のいずれかを実行します。
 - 先進認証

詳細については、「セキュリティ証明書の使用方法」を参照してください。

■ 基本認証

基本認証の場合、リストアを続行するには、ユーザ名とパスワードを入力します。

注: テナントまたはアカウントで先進認証が有効になっている場合、このオプションは失敗します。

リストア					×
<u>■</u> リストアオプション テスティネーション					
リストア先	新しい名前で元のサイトをリス	、トアする		-	
認証	新規の認証			Ŧ	
リストアするバージョン	すべてのバージョンをリストア	,		-	
 モダン認証 セキュリティ証明 まま。 基本認証 ユーザ名とパスワ します バッウアップの暗号化または保護 リストアしよきしているデータが暗号化 パスワード 	書を使用してリストアし ードを使用してリストア ?スワード :されているかパスワードで保護されています	ユーザ名 usemame@dd バスワード 「 、データのリストアに必	omain 要なパスワードを指定	こしてください。	
		前に戻る	次へ	キャンセル	2112

必要に応じてユーザ名とパスワードを指定します。

4. 次へ]をクリックします。

[リストア サマリ]ダイアログ ボックスが表示されます。

Exchange Online 情報をリストアするようにリストアオプションが定義されます。

回復可能なアイテムのリストア

Exchange Online ノードの UI で、インプレース ホールド または訴 訟 ホールド機能が 有効になっているメールボックスから回復可能なアイテムをリストアし、バックアップ セッションを参照できます。この機能を有効にするには、「<u>ソースの指定</u>」を参照し てください。

機能を<u>有効</u>にした後、リストアウィザードを使用して、回復可能なアイテムをリストアすることができます。

以下の手順に従います。

1. **Exchange 項目のリストア**]ダイアログボックスで、**回復可能なアイテム**]で必要なフォルダを選択し、**次へ**]をクリックします。

リストア				
😽 Exchange 項目のリストア				
□ メールボックス: »	•	件名	<u>5:</u>	Q
🗖 🛐 Soluzioni itauser	~	[1]送信者 件名	受信日時	サイズ
🗖 💁 ipn user1			13.28.14	
💶 💁 produto p tbuser			2017/10/23 13:27:53	17.57 KB 🔨
Image: Soluciones esnuser Image: Soluciones esnuser		•	2017/10/23 13:27:52	7.93 KB
		•	2017/10/19 19:56:09	33.59 KB
	\sim	•	2017/10/19 19:46:07	4.07 KB
1 - 5/5 の表示			2017/10/13 17:22:36	7.19 KB
771/9	×		2017/10/13	6.99 KB
▶ ■ 🗟 受信トレイ	^		2017/10/11	
4 1 2 2		•	18:06:45	6.92 KB
▷ □ バージョン		•	2017/10/11 15:46:10	7.31 KB
		•	2017/10/11 15:31:23	6.92 KB
🕨 🗖 🚰 迷惑メール		•	2017/10/11 14:59:58	4.18 KB
			2017/10/11	2.94 KB 🗸
▶ ■■ 达信済みアイテム	~		14:59:36	47 #±=1

[リストアオプション] 画面が表示されます。

- 2. [Jストアオプション]画面で以下の詳細手順を実行し、 次へ]をクリックします。
 - リストア先を選択します。
 - リストア先に項目がすでに存在する場合、スキップまたは上書きします。
 元の場所または別の場所へのリストアを行うことができます。

元の場所へのリストア

回復可能な項目]の項目が、ターゲットメールボックスに作成された UDP_RecoverableItems_yyyyMMdd_HHmmssfff フォルダにリストアされま す。リストアに関するスキップおよび上書きのオプションは、これらの項目 には適用されません。

別の場所へのリストア

ユーザメールボックスと同様に、選択した項目をデスティネーションパス にある一意のタイムスタンプ付きフォルダ(/restore_yyyyMMdd-mmssffな ど)にリストアします。

リストア先となるデスティネーションのユーザ ID とパスワードを指定します。

選択した回復可能な項目がリストアされます。

復旧ポイントのコンテンツがリストアされます。

復旧ポイント コンテンツのリストア

リストアオプションを定義したら、設定が正しく行われていること、および、リストア のプロセスを確認します。 リストアサマリ]では、定義したリストアオプションをすべ て確認し、必要に応じて変更することができます。

以下の手順に従います。

1. **リストア サマリ**]ダイアログ ボックスで、表示されている情報を確認し、リストアオ プションおよび設定がすべて正しいことを確認します。

リストア		×
リストア サマリ		
設定が正しいことを確認した後、[完了] をクリックしてリストア ブ	ロセスを開始します。	
リストアするコンボーネント		
名前	サイズ バス	
	29.56 KB (二))受信トレイ	
	1.	メール
デスティネーション		
元の場所にリストアする		
リストア オリンモノ Accent LIDP エージェント での重複メールの解決方法・スキップ		
HERE OF I AND COTES, HOURSCHART, HIM		
	前に戻る 完了 キャンセル	ヘルプ

- サマリ情報が正しくない場合は、前に戻る〕をクリックし、該当するダイアロ グボックスに戻って、正しくない設定を変更します。
- サマリ情報が正しい場合は、 院了]ボタンをクリックし、リストアジョブを開始します。

復旧ポイントのコンテンツがリストアされます。

コンテンツのリストアの確認

リストアプロセスが完了したら、コンテンツが指定されたデスティネーションにリストア されたことを確認します。

以下の手順に従います。

- 1. デスティネーション メールボックスにログインします。
- 2. リストアしたメールボックスのアイテムを確認します。
- 3. リストアされたコンテンツを確認します。

リストアされたコンテンツの検証が完了しました。

SharePoint Online サイト コレクション データをリストア する方法

SharePoint Online リスト/ライブラリまたはサイトのリスト アイテムをリストアできます。 サイト コレクションとサイトは、Arcserve UDP7.0 ではまだサポートされていません。新 しい名 前 で元 のサイトにデータをリストアすること、元 の場 所 にデータをリストアする こと、および復 旧 ポイントからディスクにデータをエクスポート することができます。

SharePoint Online リスト アイテムをリストアするには、以下のタスクを実行します。

- 1. リストアする SharePoint Online サイトのリストアイテムの選択
- 2. リストアオプションの定義
- 3. コンテンツのリストアの確認

リストアする SharePoint Online サイトのリスト アイテムの選択

復旧ポイントから SharePoint Online リスト アイテム データをリストアできます。復旧 する日付を選択して時間を指定すると、その期間に関連付けられた復旧ポイン トがすべて表示されます。その後、リストアするバックアップコンテンツ(アプリケーショ ンを含む)を参照して選択することができます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP にログインします。
- 2. **[Jソース**]タブをクリックします。
- 3. 左ペインの **すべてのノード**]を選択します。

追加されたすべてのノードが中央のペインに表示されます。 または **SharePoint Online ノード**]グループを選択します。

追加されたすべてのSharePointノードが中央のペインに表示されます。

- 4. 中央のペインで SharePoint Online ノードを選択し、アクション]をクリックします。
- 5. **[アクション**]ドロップダウンメニューの [Jストア]をクリックします。

[SharePoint Online アイテムをリストア]ダイアログボックスが表示されます。

注: ユーザはエージェント ノードに自動的にログインされ、 SharePoint Online ア イテムをリストア ダイアログボックスが開きます。

[バックアップ場所]に 腹旧ポイント サーバ]の詳細が表示されます。

Restore					2
Browse Recovery	Points				~
Backup Location					
Recovery Point Server:	w 1-w2kr2	2		Change	
Data Store:	dsnoncon	np			
Node:	SpsSite				
Recovery Point Date					
◄ October 2017 ▼ ►	Time	Туре	Backup Type	Name	
S M T W T F S 24 25 26 27 28 29 30	🛞 4:48:05 PM	Custom / Manual	Full	Customized Full Backup	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	🛞 4:30:20 PM	Custom / Manual	Full	Customized Full Backup	
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	🛞 4:16:08 PM	Custom / Manual	Full	Customized Full Backup	
29 30 31 1 2 3 4	3:40:55 PM	Custom / Manual	Incremental	Customized Incremental Backup	
Today	🛞 3:19:09 PM	Custom / Manual	Full	Customized Full Backup	
12:00 AM - 6:00 AM					
6:00 AM - 12:00 PM					
12:00 PM - 6:00 PM (5)					
6:00 PM - 12:00 AM					
					~
			Next	Cancel Help	

6. (オプション) 変更]をクリックしてバックアップ場所を変更します。

[ソース]ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでバックアップ 場所を選択できます。

ソース	1.21			×
○ ローカルデ ● 復旧ボイン	「ィスクまたは共有フォルダの選択 トサーバ を選択			
御태心村	サーバ設定			×
+71.0.		ノード	ユーザ名	デステ
小人下石:	XXX.XXX.XXX.XXX	10.58.174.239		•
ユーザ名:	Administrator	w10jvc1		~
		w2019jvc5@10.58.174.250		
パスワード:		w2019jvc7		
ボート:	8014			~
プロトコル:	○ HTTP	<		>
データスト ア	DS1 - 更新	4 4 ≪−3 1		1-8/8の表示
			ок	キャンセル

7. ソースを指定するには、以下のいずれかのオプションを選択し、 [OK]をクリックしま す。

ローカルディスクまたは共有フォルダの選択

注: Arcserve UDP では、 **ローカル ディスクまたは共有 フォルダの選択**]オプションの選択は推奨されません。

復旧ポイントサーバの選択

- a. 復旧ポイント サーバ設定の詳細を指定し、 **更新**]をクリックします。 すべてのエージェントが **シース**]ダイアログ ボックスの データ保護 エージェン ト]列 にリスト表示されます。
- b. 表示されたリスト/ライブラリからエージェントを選択し、 [DK]をクリックします。 復旧ポイントが SharePoint Online アイテムをリストア]ダイアログボックスに リスト表示されます。
- 8. カレンダで、リストアするバックアップ イメージの日付を選択し、 次へ]をクリックします。

指定したバックアップソースの復旧ポイントを含む日付はすべて、緑で強調表示 されます。

その日付に対応する復旧ポイントが、バックアップの時刻、実行されたバックアップの種類(フルまたは増分)、およびバックアップの名前と共に表示されます。

9. **SharePoint Online アイテムをリストア** ダイアログ ボックスで、サイト コレクションを 展開します。

すべてのリスト/ライブラリとリストが表示されます。

10. SharePoint サイト コレクションからリストアする、サイト コレクション内 にあるリスト/ライ ブラリまたはアイテムを選択し、 **次**へ]をクリックします。 注:

- ◆ リストアする SharePoint オブジェクトの全コンテンツまたは一部のコンテンツを 選択できます。一部のコンテンツを選択するには、オブジェクトを展開し、そのコンテンツのチェックボックスをクリックします。
- ◆ 複数の SharePoint リスト/ライブラリまたはリスト アイテムを選択してリストアできます。

[リストアオプション]ダイアログボックスが表示されます。

Restore				×
Doctoro SharoDoint Online I	tome			
Select the items you want to restore and click Nex	tems			
Style Library				
B BataConl ib				
SophieFormLib				
Sophie'sWikiPage				
I doclibarary				
Image: A comparison of the				
	Dravioue	Novt	Cancol	Liele
	Previous	Next	Cancer	нер

リストアする SharePoint Online リスト/ライブラリまたはリスト アイテムが選択されています。これで、リストアオプションを定義することができます。

リストアオプションの定義

リストアする SharePoint Online 情報を指定したら、選択したファイルまたはフォルダ 用にリストアオプションを定義します。

以下の手順に従います。

1. リストアオプション]ダイアログボックスで、リストア先を選択します。

リストア		×
<u>]]</u> リストア オプション デスティネーション		
リストア先	新しい名前で元のサイトをリストアする	Ψ
認証	既存の認証	w.
リストアするバージョン	すべてのバージョンをリストア	Ψ.
restore_yyyymmdd d ユーザ名	のように名付けられます。	
バックアップの暗号化また(リストアしようとしているデータt	は保護パスワード 暗号化されているかパスワードで保護されています。 データのリストアに	「必要なパスワードを指定してください。
パスワード		
	前に戻る	次へ キャンセル ヘルプ

使用可能なデスティネーションオプションは、以下のとおりです。

新しい名前で元のサイトをリストアする

リスト/ライブラリおよびリスト アイテムのデータを、バックアップした場所から同じ サイトに新しいリスト名でリストアします。

元の場所にリストアする

リスト/ライブラリおよびリスト アイテムのデータをバックアップした場所から同じ場所にリストアします。

2. 頃目がデスティネーションに存在する場合]ドロップダウンから、以下のオプションのいずれかを指定します。

バージョン管理が有効な場合は、新バージョンとして追加

このオプションは、SharePoint サイトのライブラリ設定でバージョン設定が有効になっている場合に機能します。このオプションを選択すると、リストアイテムが存在している場合は、新しいバージョンがリストアイテムの現在のバージョンに追加されます。

項目をスキップし、リストアしない

項目をスキップし、リストアしません。

デスティネーションの項目を上書きする

デスティネーションの項目を上書きします。

ディスクにエクスポート

サイト コレクション内 のリスト/ライブラリまたはリスト アイテムをディスク内 のフォル ダまたは共有フォルダにリストアします。

注: リストのリストアで「ディスクにエクスポート]のリストアオプションを選択する と、リストの添付ファイルのみがディスクにエクスポートされます。

認証

ユーザ アカウントを検証および識別します。以下のオプションから1つを選択します。

■ 既存の認証

既存の認証]を選択すると、ノードの作成時に選択した認証タイプが使用されます。

- ◆ ノード認証が基本認証の場合、ユーザ名、パスワード、バックアップ 暗号化、保護パスワード(暗号化されている場合)などのパラメータ が自動的にロードされ、リストアが続行されます。
- ◆ ノード認証が先進認証の場合、ユーザ名、バックアップ暗号化、保護パスワード(暗号化されている場合)などのパラメータが自動的に ロードされ、リストアが続行されます。

新しい認証

リストア中に、以下のいずれかを選択して認証タイプを変更できます。

◆ 先進認証

◆ 基本認証

リストア		×
■ リストア オプション デスティネーション		
リストア先	元の場所にリストアする	v
項目がデスティネーションに存在する場合	項目をスキップし、リストアしない	Ψ
認証	新規の認証	Ŧ
 モダン認証 セキュリティ証明書 キオ 基本認証 ユーザ名とパスワー レキオ バックアップの暗号化または保護パスパ リストアしようとしているテータが暗号化され 	を使用してリストアし ドを使用してリストア フード ているかパスワードで保護されています。データのリストアに必要	ねパスワードを指定してください。
パスワード	••	
	伯一要又	MA CELSONI AND
	前に戻る	次へ キャンセル ヘルプ

- 3. 認証を適用するには、以下のいずれかを実行します。
 - 先進認証

詳細については、「セキュリティ証明書の使用方法」を参照してください。

■ 基本認証

基本認証の場合、リストアを続行するには、ユーザ名とパスワードを入力します。

注: テナントまたはアカウントで先進認証が有効になっている場合、このオプションは失敗します。

UZFP		×
🗻 ሀストア オプション デスティネーション		
リストア先	新しい名前で元のサイトをリストアする	-
語証	新規の認証	Ŧ
リストアするバージョン	すべてのバージョンをリストア	Ŧ
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Solition (ASA SAFArmic Trix Criss) 新しい名前は、 おけられます。 を使用してリストアし 「たを使用してリストア	
パックアップの暗号化または保護パン リストアしようとしているデータが暗号化さ パスワード	「ワード れているかパスワードで保護されています。 データのリストアに必要なパス 	ワードを指定してください。
	前に戻る 🏾 🕉	ヘルプ キャンセル ヘルプ

バックアップを実行するサイト所有者の ユーザ名]および [パスワード]を指定します。

4. SharePoint サイトのライブラリ設定でバージョン設定が有効になっている場合は、リ ストアするリストアイテムのバージョンを指定します。

すべてのバージョンをリストア

バックアップにあるすべてのバージョンをリストアします。

最新のバージョンのみをリストア

バックアップにある最新バージョンのみをリストアします。

最新のメジャー バージョンのみをリストア

バックアップにある最新のメジャーバージョンのみをリストアします。

- 5. セッション パスワード がある場合は指定します。
- 6. 次へ]をクリックします。

リストア サマリ」ダイアログ ボックスが表示されます。

リストア		×
リストア サマリ		
設定が正しいことを確認した後、[完了] をクリックしてリストアン	ブロセスを開始します。	
リストアするコンポーネント		
名前	サイズ バス	
	29.56 KB (二))受信トレイ	
		A . A . H
デフティストション		1メール
元の場所にリストアする		
以下がション		
Arcserve UDP エージェント での重複メールの解決方法: スキップ		
	前に戻る 完了 キャンセル	~JL7

[リストア サマリ]ダイアログ ボックスからリストア情報を確認することができます。

7. 院了]をクリックしてリストアジョブをサブミットします。

SharePoint Online 情報をリストアするようにリストアオプションが定義されます。

コンテンツのリストアの確認

リストアプロセスが完了したら、コンテンツが指定されたデスティネーションにリストア されたことを確認します。

以下の手順に従います。

- 1. SharePoint サイト コレクションにログインします。
- 2. リスト/ライブラリおよびリスト アイテムを確認します。
- 3. リストアされたコンテンツを確認します。

リストアされたコンテンツの検証が完了しました。

OneDrive データのリストア方法

任意のコンピュータを使用して OneDrive データ(ファイルやフォルダなど) をリストア できます。 リストア オプションを使用するか、エージェント ユーザ インターフェースから [Mount Volume (ボリュームのマウント)]オプションを使用してリストアできます。 以下のタスクを実行して、 リストア オプションで OneDrive データをリストアできます。

- 1. <u>リストアする OneDrive アイテムの選択</u>
- 2. リストアオプションの定義
- 3. <u>リストア サマリの表示</u>
- 4. コンテンツのリストアの確認

または

ボリュームのマウント オプションを使用して OneDrive データをリストアします。

リストアする OneDrive アイテムの選択

復旧ポイントから OneDrive データをリストアできます。復旧する日付を選択して時間を指定すると、その期間に関連付けられた復旧ポイントがすべて表示されます。その後、リストアするバックアップコンテンツ(アプリケーションを含む)を参照して選択することができます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP にログインします。
- 2. **[リソース**]タブをクリックします。
- 3. 左ペインの **すべてのノード**]を選択します。 追加されたすべてのノードが中央のペインに表示されます。
- 4. 中央のペインで OneDrive ノードを選択し、 アクション]をクリックします。
- 5. **アクション**]ドロップダウンメニューの **リストア**]をクリックします。

注: ユーザはエージェント ノードに自動的にログインされ、 [**ノード**]ダイアログ ボックスが開きます。

[バックアップ場所]に **復旧ポイントの参照**]が表示されます。選択した復旧ポイントサーバの名前が表示されます。必要に応じて、 **変更**]をクリックし、「ソース] ポップアップから **復旧ポイントサーバ設定**]を変更します。

6. カレンダで、リストアするバックアップイメージの日付を選択し、 次へ]をクリックしま す。

指定したバックアップソースの復旧ポイントを含む日付はすべて、緑で強調表示 されます。

その日付に対応する復旧ポイントが、バックアップの時刻、実行されたバックアップの種類(フルまたは増分)、およびバックアップの名前と共に表示されます。

Restore OneDrive Node Items (OneDrive ノード アイテムのリストア)]ペインから、フォルダからリストアする関連アイテムまたはフォルダのチェックボックスをオンにして、 次へ]をクリックします。

ሀストア					
0 ne リストアするア・	e Drive Online アイテムをリスト イテムを選択して D次へ] をクリックします。	7			
4 🖬 🗄	美青不安				
	ドキュメント.docx				
	Book.xlsx				
		前に戻る	次へ	キャンセル	ヘルプ

注:

- ◆ リストアする OneDrive オブジェクトの全 コンテンツまたは一部のコンテンツを選択できます。一部のコンテンツを選択するには、オブジェクトを展開し、そのコンテンツのチェックボックスをクリックします。
- ◆ 複数のOneDrive オブジェクトを選択できます。

[リストアオプション]ダイアログボックスが表示されます。

リストアする OneDrive ノード アイテムが選択されます。これで、<u>リストアオプションを</u> 定義することができます。

リストアオプションの定義

リストアする OneDrive 情報を指定したら、選択したファイルまたはフォルダ用にリストアオプションを定義します。

以下の手順に従います。

1. **リストアオプション**]ダイアログボックスで、リストア先を選択します。

11717	
ህአኮሥ	
「」 リストアオプショ	а ^у
デスティネーション	
リストア先	ディスクにエクスポート
22172	
 アイテムは、一意(されます。 	のタイムスタンプが付いたフォルダ (/restore_mm_dd_yyyy) 内のデスティネーション パスにリストフ
	44 52
ナスティネーション バス	
ハックアッフの増与1ビまな リストアしようとしているデータ	こ は休護バスリード タが暗号化されているかパスワードで保護されています。データのリストアに必要なパスワードを指定してください。
パスワード	•••••
	前に戻る 次へ キャンセル ヘルプ
	前に戻る 次へ キャンセル ヘルプ

ディスクにエクスポート

フォルダまたはディスクの共有フォルダにリストアします。

2. デスティネーションパス]を指定し、別のリストア場所を定義します。

- 3. (オプション) **[バックアップの暗号化または保護パスワード**]を指定します。 注: このオプションは、バックアップ プランで <u>デスティネーション</u>]を定義しているとき にすでにセッション パスワードを設定した場合にのみ表示されます。
- 4. 次へ]をクリックします。

[リストア サマリ]ダイアログ ボックスが表示されます。

OneDrive 情報をリストアするようにリストアオプションが定義されます。これで、リス トアサマリを確認できます。

リストアサマリの表示

リストアオプションを定義したら、設定が正しく行われていること、および、リストア のプロセスを確認します。 リストアサマリは、定義したすべてのリストアオプションお よびデスティネーション パスを確認するのに役立ちます。 変更する必要がある場 合は、**前へ**]をクリックします。

以下の手順に従います。

1. **リストア サマリ** ダイアログ ボックスで、表示されている情報を確認し、リストアオ プションおよび設定がすべて正しいことを確認します。

117.57					
リストア サマリ					
設定が正しいことを確認した後、[氛	記了]をクリックし	/ てリストアプ	コセスを開始します		
リストアするコンボーネント					
🔺 🜰 美青不安					
📄 ドキュメント.docx					
デスティネーション					
ダンプ ファイルのリストア先: E¥					
		前に戻る	完了	キャンセル	~JL

- サマリ情報が正しくない場合は、前に戻る〕をクリックし、該当するダイアロ グボックスに戻って、設定を変更します。
- サマリ情報が正しい場合は、 院了]ボタンをクリックし、リストアジョブを開始します。

復旧ポイントのコンテンツがリストアされます。

コンテンツのリストアの確認

リストア ジョブの完了後、ファイル/フォルダが Restore というプレフィックスが付与された一時フォルダに保存されます。

👝 l ⊋ 🏭 🖛 l	ドライブ ツール	ボリューム	(E:)
ファイル ホーム 共有	表示 管理		
🔄 🔄 🔻 🕇 💼 🕨 PC	С ▶ ポリューム (Е:) ▶		 ・ C ボリューム (E
☆ お気に入り	名前	更新日時	種類
	lestore_20190403_2048	17 2019/04/03 20:4	8 ファイル フォルダー
PC			
<table-of-contents></table-of-contents>			

リストアされたファイル/フォルダは、OneDrive で利用可能なものと同じレイアウトを維持します。

ボリュームのマウント オプションを使用した OneDrive データのリストア

OneDrive 保護では、ユニバーサル バックアップ セッション フォーマット が使用されます。 ドライブ文字 としてバックアップ セッションをマウントし、 マウントされたボリューム からファイル/フォルダをコピーできます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP にログインします。
- 2. **[リソース**]タブをクリックします。

- 5. 左ペインの 「すべてのノード」を選択します。
 追加されたすべてのノードが中央のペインに表示されます。
- 4. 中央のペインで OneDrive ノードを選択し、 アクション]をクリックします。
- 5. **アクション**]ドロップダウンメニューの [Log into Agent (エージェントにログイン)]を クリックします。

注: エージェント ノードに自動的にログインされます。ノードの完全な詳細を確認 でき、右側のペインには実行できるタスクのリストも表示されます。

6. **タスク**]の右側のペインから、**腹旧ポイントのマウント**]をクリックします。

腹 旧 ポイントのマウント]ダイアログ ボックスが表 示 されます。 このダイアログ ボック スでバックアップ セッションを選 択 できます。

ノード名:onedriveは宇し	復旧ポイントのマウント	
ジョブ モニ タ	🧕 復旧ポイントのマウント	
次にスケジュールされたパックアップ:2019/04/25 22:00:00	 ▼マウントされたボリュームのリスト	
サマリ	マウント解除 マウント ポ 復旧ポイント イント	ソースム
前回のパックアップ - 増分, 2019/04/24 22:001 7		
7 個中 7 個の毎日の復旧ポイント	▼バックアップ ポリュームの選択とマウント	
バックアップ先の 容量 復旧ポイントサーバ: 10.57.31.31	復旧ポイントサーバ: 10.5	7.31.31
復旧ポイントサーバ データ ストア: DS	データストア: DS	
	ノード: oneo	triveは宇し
休護サイリ	復旧ポイントの日付	
フロレバックアップ 1 342 13 MB N/A	▲ 4月 2019 ▼ ► AR 時刻	● 種類
増分バックアップ 7 4.69 MB N/A	日月火水末金土	0:17 毎日
星新のイベント	7 8 9 10 11 12 13	
	14 15 16 17 18 19 20	
	28 29 30 1 2 3 4	
31 1 2 3 4 5 6 9 X	5 6 7 8 9 10 11	
7 8 9 10 11 12 13	今日	
21 22 23 24 25 26 27	指定期間	
28 29 30 1 2 3 4	0:00 - 6:00 ポリューム	
	6:00 - 12:00 Z:	
	12:00 - 18:00	
	更新	

7. デスティネーションを選択し、セッションをドライブ文字としてマウントするか、空の NTFS フォルダにマウントします。

復旧ポイントのマウント		×
ボリュームまたはパスへの復旧ポイントのマウント		
● マウント先ボリューム: Z: ▼		
○ マウント先パス (パスは空の NTFS/ReFS フォルダで	あることが必要) :	
	課令	
	ОК	キャンセル

ボリュームを参照できます。Arcserve UDP は OneDrive のすべてのメタ データをボ リュームに保存しました。各アカウントのルート ボリュームに関連 フォルダがありま す。フォルダはアカウント名に従って命名されます。

そのアカウント名によって作成されたフォルダを開き、OneDrive データがバックアップ されているかどうかを確認できます。
保護された Microsoft Office 365 データを Arcserve Cloud Backup インスタンスから復旧する

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- Microsoft SharePoint Online サイト コレクション データをリストアする方法
- Microsoft Office 365 Exchange メールボックス データをリストアする方法
- Microsoft OneDrive データのリストア方法

Microsoft SharePoint Online サイト コレクション データ をリストアする方法

SharePoint Online リスト/ライブラリまたはサイトのリスト アイテムをリストアできます。 新しい名前を使用して元のサイトにデータをリストアしたり、元の場所にデータをリ ストアしたり、復旧ポイントからディスクにエクスポートしたりすることができます。

詳細については、「SharePoint Online サイト コレクション データをリストアする方法」 を参照してください。

Microsoft Office 365 Exchange メールボックス データを リストアする方法

Microsoft クラウドから電子メール、予定表、連絡先、メモ、タスクなどの Exchange Online メールボックス データをリストアできます。 元の場所や別の場所にデータをリ ストアしたり、復旧ポイントからディスクにエクスポートしたりすることができます。

詳細については、「<u>Exchange Online メールボックス データをリストアする方法</u>」を参照してください。

Microsoft OneDrive データのリストア方法

Microsoft OneDrive データをリストアするには、エージェント ユーザ インターフェース から 『リストア』オプションまたは 「ボリュームのマウント』オプションを使用します。 Microsoft OneDrive ファイルおよびフォルダをローカル ディスクにエクスポートできま す。

詳細については、「<u>Microsoft OneDrive データをリストアする方法</u>」を参照してください。